

統計調査課資料  
統 労 第 8 8 号  
平 成 2 1 年 3 月 刊 行

# 福島県の推計人口

(福島県現住人口調査年報)

平成 20 年版

福島県企画調整部統計調査課

## はしがき

この報告書は、毎月公表している「福島県の推計人口（福島県現住人口調査月報）」の平成20年分について取りまとめたものです。

平成20年の本県人口は、平成10年から11年連続の減少となりました。

また、全59市町村のうち、53市町村で人口が減少し、一部の都市部やその周辺の市町村での増加、会津、阿武隈地域での減少という傾向も引き続きみられました。

本書では、県人口の構造や移動の状況等を総体的に把握することを目的に編集しており、各種行政施策の企画・立案に携わる方々をはじめ、多くの皆様に有効に御利用いただければ幸いです。

終わりに、毎月この調査に御協力をいただいている市町村の皆様に深くお礼申し上げますとともに、今後とも一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成21年3月

福島県企画調整部長

# 目 次

I	調査の概要	1
II	利用上の注意	2
III	用語の解説	2
IV	結果の概要	
第1	県人口	
1	総人口及び世帯数	7
2	県人口及び世帯数の推移	7
3	年齢別人口	
(1)	年齢3区分別人口	9
(2)	年齢構造指数の推移	10
4	市町村別人口	
(1)	市町村別人口	12
(2)	年齢3区分別人口比率	12
第2	人口動態	
1	県の人口動態	
(1)	県の人口動態	14
(2)	県の自然動態	15
(3)	県の社会動態	16
2	方部別人口動態	
(1)	方部別人口動態	17
(2)	方部別自然動態	17
(3)	方部別社会動態	18
3	市町村別人口動態	
(1)	市町村別人口動態	18
(2)	市町村別自然動態	20
(3)	市町村別社会動態	20
第3	移動者の状況	
1	月別移動者数	21
2	移動者の従前地及び転出先	
(1)	他の都道府県との移動	22
(2)	方部別状況	23
(3)	市町村別状況	24
3	年齢別移動者数	25
第4	最近10年の人口の推移	26

## I 調査の概要

### (1) 調査の目的

福島県現住人口調査（以下「調査」という。）は、県の人口及びその移動実態を明らかにし、各種行政施策のための基礎資料を得ることを目的とする。

### (2) 根拠法令等

- ア 福島県統計調査条例（昭和26年福島県条例第93号）
- イ 福島県現住人口調査規則（平成12年福島県規則第62号）
- ウ 福島県現住人口調査要綱

### (3) 調査期間

毎月1日から末日までの1月を1単位として、継続して行う。

### (4) 調査対象

- ア 県外への転出者
- イ 県外からの転入者
- ウ 県内の市町村間で移動する者のうち転入した者
- エ 出生者
- オ 死亡者
- カ 世帯

### (5) 調査事項

- ア 県外者への転出者に関する事項
  - (ア) 県外への転出者の数
  - (イ) 国籍、男女の別、出生の年月及び転出先の住所地
- イ 県外からの転入者及び県内で移動する者のうち転入した者に関する事項
  - (ア) 県外からの転入者及び県内の市町村間で移動する者のうち転入した者の数
  - (イ) 国籍、男女の別、出生の年月及び従前の住所地
- ウ 出生者に関する事項
  - (ア) 出生者の数
  - (イ) 国籍、男女の別及び出生の年月
- エ 死亡者に関する事項
  - (ア) 死亡者の数
  - (イ) 国籍、男女の別及び出生の年月
- オ 世帯数及びその増減の状況

### (6) 推計方法

この調査は、直近の国勢調査による人口及び世帯数を基数とし、これに毎月、出生者の数、死亡者の数、転入者の数、転出者の数及び世帯数の増減を加減することにより推計を行っている。

$$\text{推計人口} = \text{国勢調査人口} + (\text{出生者の数} - \text{死亡者の数}) + (\text{転入者の数} - \text{転出者の数})$$

$$\text{推計世帯数} = \text{国勢調査世帯数} + (\text{世帯数の増加数} - \text{世帯数の減少数})$$

なお、本書中における基数は、時期により異なる。

平成12年10月1日～平成17年9月1日 = 平成12年国勢調査  
平成17年10月1日～平成21年1月1日 = 平成17年国勢調査

## II 利用上の注意

(1) 本書は、平成20年1月1日から12月31日までの1年間における調査結果を取りまとめたものである。

なお、本書においては、調査結果の基準日を次のとおりとした。

総人口、年齢別人口、世帯数…………… 各年10月1日現在

出生者、死亡者、転入者、転出者……… 各年1月1日から12月31日までの計

(2) 表中に使用した符号は、次のとおりである。

「△」…………… 減少を表す

「0.0」…………… 表示単位に満たないもの

「-」…………… 該当数値がないもの

(3) 諸表の数値のうち、一部の表について、表示単位未満の数値を四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合がある。

## III 用語の解説

(1) 自然動態

ア 自然増減 出生者の数－死亡者の数  
イ 出生者 出生により住民票に記載され、又は外国人登録原票に登録された者。  
ウ 死亡者 死亡により住民票が消除され、又は外国人登録原票が閉鎖された者。

(2) 社会動態

ア 社会増減 転入者の数－転出者の数  
イ 転入者  
県内 県内の他市町村からの転入により住民票に記載され、又は外国人登録原票に登録された者。  
県外 県外からの転入又は入国により住民票に記載され、又は外国人登録原票に登録された者。  
その他 転入の届けがないこと等により職権で住民票に記載された者のうち従前の住所地が不明な者、日本国籍取得の届出によって住民票に記載された者及び日本国籍喪失による登録申請を受けて外国人登録原票に登録された者。  
ウ 転出者  
県内 県内の他の市町村へ転出した者。本調査では、この数値を転出先の市町村の転入者に関する事項を基に算出している。したがって、福島県における県内転出の総数は県内転入の総数と一致するが、各市町村の県内転出者の数はその市町村において同月期に転出届等のあった実人数とは必ずしも一致しない。  
県外 県外又は国外への転出により住民票が消除された者、県外に転出したことにより外国人登録原票を転出先の市町村に送付された者及び出国により外国人登録原票が閉鎖された者。  
その他 転出の届けがないこと等により職権で住民票が消除された者のうち転出先が不明な者、日本国籍喪失の届出により住民票が消除された者及び日本国籍取得による登録証明書の返納を受けて外国人登録原票が閉鎖された者。

(3) 人口動態

人口増減          自然増減＋社会増減

(4) 県外地方区分

都道府県を次のとおり7地方に区分している。

北海道	北海道
東北	青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県
関東	茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県
中部	新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県
近畿	滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県
中国・四国	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県
九州・沖縄	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県

(5) 県内方部区分（平成21年1月1日現在）

県内の市町村を次のとおり7方部に区分している。

県北	福島市 二本松市 伊達市 本宮市 桑折町 国見町 川俣町 大玉村
県中	郡山市 須賀川市 田村市 鏡石町 天栄村 石川町 玉川村 平田村 浅川町 古殿町 三春町 小野町
県南	白河市 西郷村 泉崎村 中島村 矢吹町 棚倉町 矢祭町 塙町 鮫川村
会津	会津若松市 喜多方市 北塩原村 西会津町 磐梯町 猪苗代町 会津坂下町 湯川村 柳津町 三島町 金山町 昭和村 会津美里町
南会津	下郷町 檜枝岐村 只見町 南会津町
相双	相馬市 南相馬市 広野町 楡葉町 富岡町 川内村 大熊町 双葉町 浪江町 葛尾村 新地町 飯館村
いわき	いわき市

(6) 市町村合併

平成16年11月1日	会津若松市（北会津村編入）
平成17年3月1日	田村市（滝根町、大越町、都路村、常葉町、船引町）
平成17年4月1日	須賀川市（長沼町、岩瀬村編入）
平成17年10月1日	会津美里町（会津高田町、会津本郷町、新鶴村）
平成17年11月1日	会津若松市（河東町編入）
平成17年11月7日	白河市（白河市、表郷村、東村、大信村）
平成17年12月1日	二本松市（二本松市、安達町、岩代町、東和町）
平成18年1月1日	南相馬市（原町市、鹿島町、小高町） 伊達市（伊達町、梁川町、保原町、霊山町、月舘町）
平成18年1月4日	喜多方市（喜多方市、熱塩加納村、塩川町、山都町、高郷村）
平成18年3月20日	南会津町（田島町、館岩村、伊南村、南郷村）
平成19年1月1日	本宮市（本宮町、白沢村）
平成20年7月1日	福島市（飯野町編入）

## IV 結果の概要

# 第1 県人口

## 1 総人口及び世帯数

福島県現住人口調査による本県の推計人口（以下「人口」という。）と世帯数は、平成20年10月1日現在で2,055,496人及び727,541世帯となった。

また、平成21年1月1日現在の本県の人口と世帯数は、2,054,095人及び728,464世帯となった。

表1 男女別人口、世帯数及び1世帯当たりの人員 (単位：人、%)

	人 口			人口性比	世帯数	1世帯当たりの人員
	総 数	男	女			
平成20年10月1日現在	2,055,496	997,947	1,057,549	94.36	727,541	2.83
(平成19年10月1日現在)	(2,068,352)	(1,004,619)	(1,063,733)	(94.44)	(721,819)	(2.87)
平成21年 1月1日現在	2,054,095	997,100	1,056,995	94.33	728,464	2.82
(平成20年 1月1日現在)	(2,066,796)	(1,003,643)	(1,063,153)	(94.40)	(722,983)	(2.86)

(注) 人口性比=男性人口÷女性人口×100

## 2 県人口及び世帯数の推移

戦前は160万人だった本県の人口は、戦時中の疎開による人口流入や、戦後の海外からの引き揚げ、第1次ベビーブームなどから急増し、昭和32年3月に209万9千7百人とピークを迎えた。その後、昭和35年から45年にかけての高度経済成長期には、首都圏への大幅な人口流出のため人口が減少し続け、昭和47年4月には192万7千9百人となった。

しかし、これを底に首都圏からのUターンや第2次ベビーブームなどから増加に転じ、昭和53年には再び200万人台を回復し、平成元年11月には、初めて210万人を超えた。平成10年1月には2,138,454人と現在までの最高値を記録したが、その後は減少に転じ、近年では人口減少が年々加速していく傾向にある。

一方、世帯数は、戦後ほぼ一貫して増え続けている。

図1 人口及び世帯数の推移(昭和30年～平成20年、各年10月1日現在)

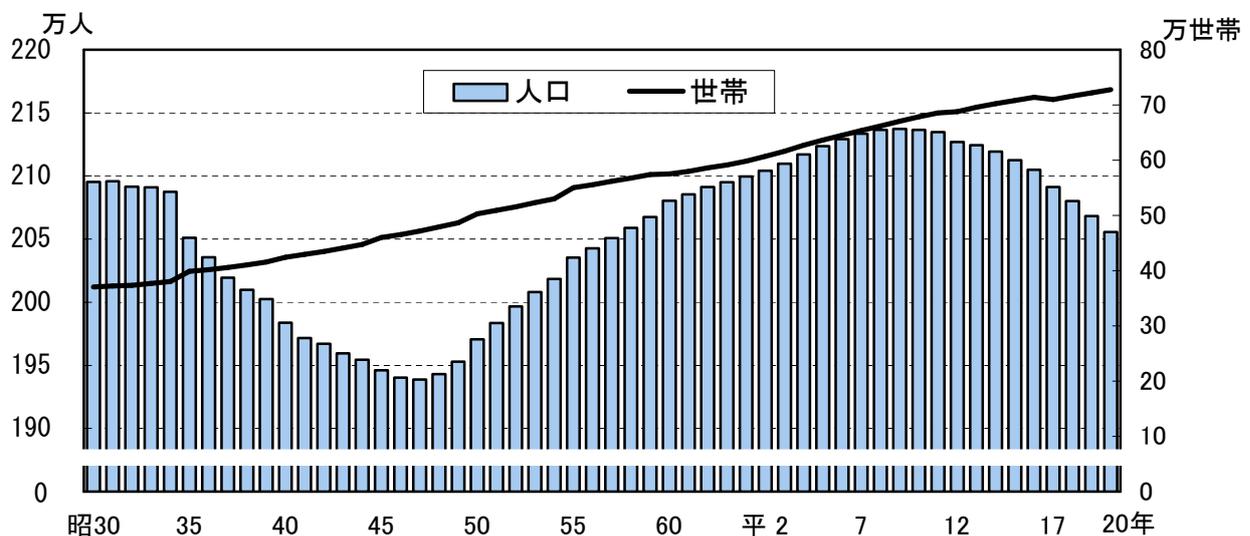


図2 福島県の総人口(H19年1月～H21年1月)

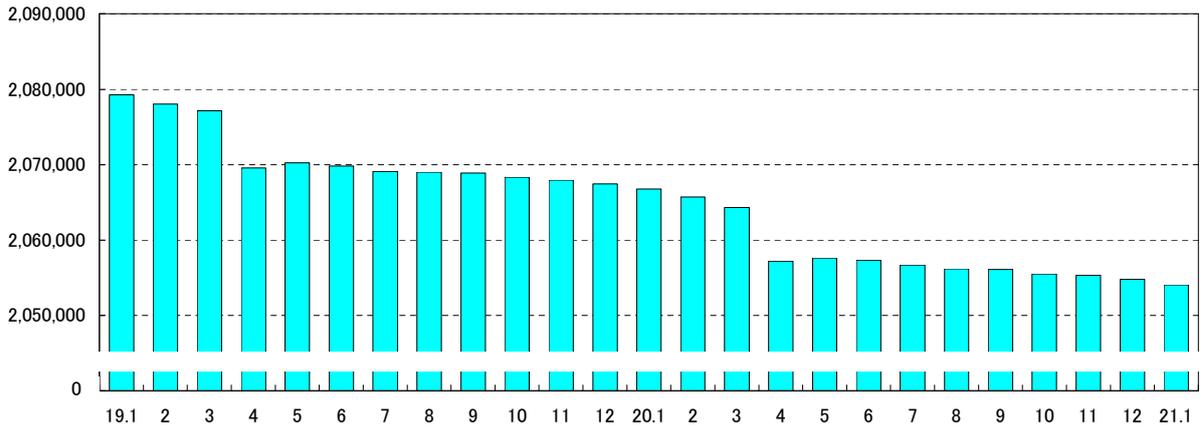


図3 福島県の総世帯数(H19年1月～H21年1月)

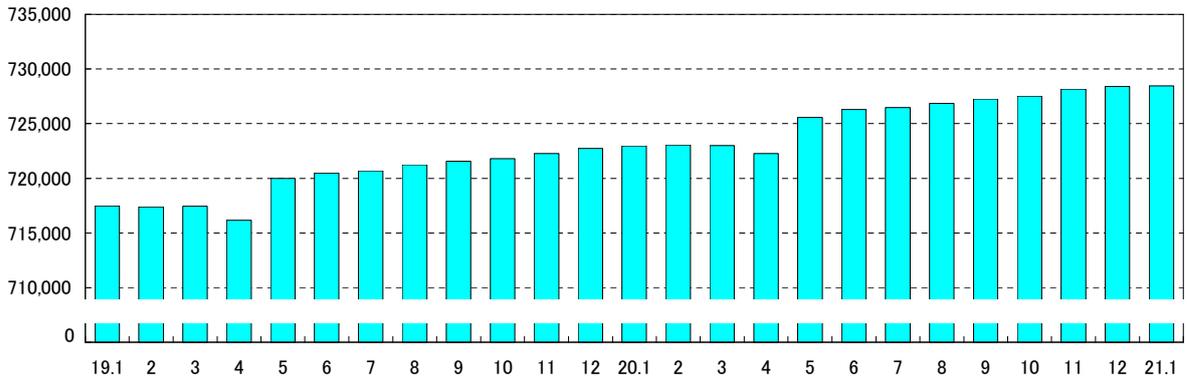


表2 人口及び世帯数の推移(昭和30年10月～平成21年1月)

年月日	人 口 (人)			世 帯 数 (世帯)	1世帯当たりの 人員
	総 数	男	女		
昭和30年10月1日	2,095,237	1,016,756	1,078,481	370,577	5.65
昭和35年	2,051,137	986,836	1,064,301	398,636	5.15
昭和40年	1,983,754	954,988	1,028,766	424,249	4.68
昭和45年	1,946,077	936,202	1,009,875	459,932	4.23
昭和50年	1,970,616	953,449	1,017,167	502,786	3.92
昭和55年	2,035,272	990,575	1,044,697	550,442	3.70
昭和60年	2,080,304	1,012,456	1,067,848	574,968	3.62
平成 2年	2,104,058	1,024,354	1,079,704	606,936	3.47
平成 7年	2,133,592	1,042,030	1,091,562	653,814	3.26
平成12年	2,126,935	1,037,787	1,089,148	687,828	3.09
平成13年	2,124,404	1,035,978	1,088,426	696,056	3.05
平成14年	2,119,382	1,032,810	1,086,572	702,199	3.02
平成15年	2,112,489	1,029,027	1,083,462	708,116	2.98
平成16年	2,104,850	1,024,651	1,080,199	713,939	2.95
平成17年	2,091,319	1,016,724	1,074,595	709,644	2.95
平成18年	2,080,186	1,010,845	1,069,341	715,921	2.91
平成19年	2,068,352	1,004,619	1,063,733	721,819	2.87
平成20年	2,055,496	997,947	1,057,549	727,541	2.83
平成19年 1月	2,079,273	1,010,339	1,068,934	717,480	2.90
平成19年 2月	2,078,064	1,009,686	1,068,378	717,386	2.90
平成19年 3月	2,077,161	1,009,208	1,067,953	717,459	2.90
平成19年 4月	2,069,570	1,005,155	1,064,415	716,163	2.89
平成19年 5月	2,070,252	1,005,716	1,064,536	719,994	2.88
平成19年 6月	2,069,815	1,005,533	1,064,282	720,486	2.87
平成19年 7月	2,069,102	1,005,087	1,064,015	720,688	2.87
平成19年 8月	2,069,011	1,005,116	1,063,895	721,249	2.87
平成19年 9月	2,068,873	1,004,963	1,063,910	721,585	2.87
平成19年10月	2,068,352	1,004,619	1,063,733	721,819	2.87
平成19年11月	2,067,943	1,004,391	1,063,552	722,296	2.86
平成19年12月	2,067,433	1,004,058	1,063,375	722,750	2.86
平成20年 1月	2,066,796	1,003,643	1,063,153	722,983	2.86
平成20年 2月	2,065,701	1,003,051	1,062,650	723,066	2.86
平成20年 3月	2,064,332	1,002,387	1,061,945	723,008	2.86
平成20年 4月	2,057,199	998,592	1,058,607	722,282	2.85
平成20年 5月	2,057,606	999,012	1,058,594	725,598	2.84
平成20年 6月	2,057,322	998,842	1,058,480	726,295	2.83
平成20年 7月	2,056,671	998,537	1,058,134	726,481	2.83
平成20年 8月	2,056,210	998,313	1,057,897	726,856	2.83
平成20年 9月	2,056,107	998,219	1,057,888	727,266	2.83
平成20年10月	2,055,496	997,947	1,057,549	727,541	2.83
平成20年11月	2,055,342	997,896	1,057,446	728,174	2.82
平成20年12月	2,054,800	997,542	1,057,258	728,410	2.82
平成21年 1月	2,054,095	997,100	1,056,995	728,464	2.82

### 3 年齢別人口

#### (1) 年齢3区分別人口

平成20年10月1日現在の人口を年齢3区分別にみると、年少人口（0～14歳）が289,998人（県人口に占める割合14.1%）、生産年齢人口（15～64歳）が1,267,314人（同61.7%）、老年人口（65歳以上）が496,753人（同24.2%）となっている。

総人口に占める構成比を前年と比較すると、年少人口が0.2ポイント、生産年齢人口が0.3ポイント低下しているのに対して、老年人口は0.5ポイント上昇している。

図4 年齢3区分別人口の推移（大正9年～平成20年、各年10月1日現在）

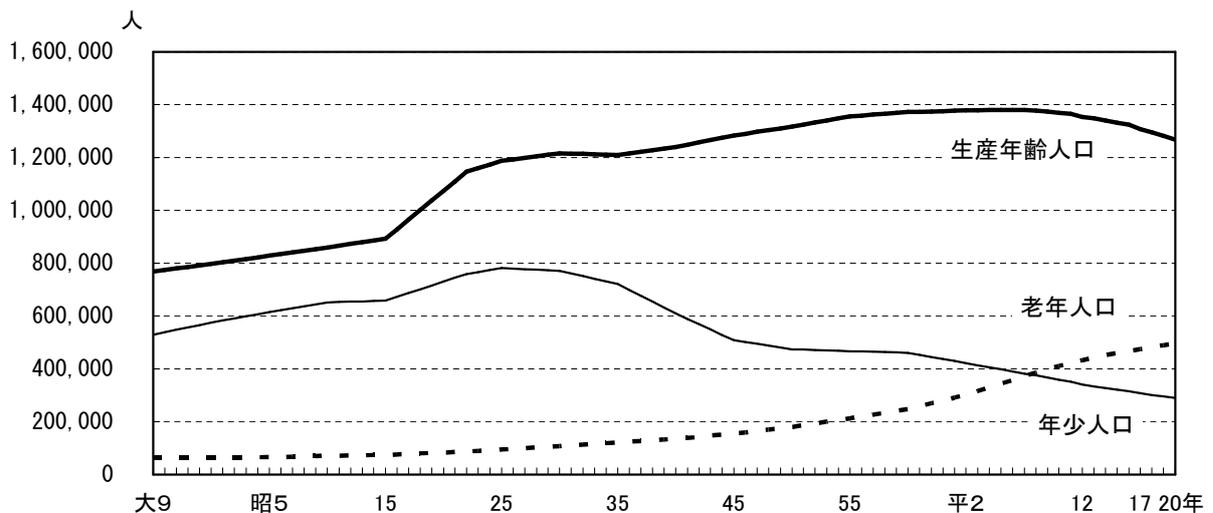


表3 年齢3区分別人口、年齢構造指数の推移（大正9年～平成20年、各年10月1日現在）（単位：人、%）

年次	年少人口		生産年齢人口		老年人口		年齢構造指数			
	人口・指数		人口・指数		人口・指数		年少人口	老年人口	従属人口	老年化
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比				
大正9年	528,818	38.8	768,798	56.4	65,134	4.8	68.8	8.5	77.3	12.3
14年	575,325	40.0	796,855	55.4	65,416	4.6	72.2	8.2	80.4	11.4
昭和5年	614,170	40.7	827,833	54.9	66,147	4.4	74.2	8.0	82.2	10.8
10年	651,195	41.2	859,803	54.4	70,565	4.5	75.7	8.2	83.9	10.8
15年	658,598	40.5	892,339	54.9	74,461	4.6	73.8	8.3	82.2	11.3
22年	758,767	38.1	1,146,117	57.5	87,576	4.4	66.2	7.6	73.8	11.5
25年	780,838	37.9	1,187,059	57.6	94,391	4.6	65.8	8.0	73.7	12.1
30年	771,329	36.8	1,216,140	58.0	107,749	5.1	63.4	8.9	72.3	14.0
35年	720,721	35.1	1,208,990	58.9	121,426	5.9	59.6	10.0	69.7	16.8
40年	608,959	30.7	1,239,658	62.5	135,137	6.8	49.1	10.9	60.0	22.2
45年	508,172	26.1	1,283,176	65.9	154,729	8.0	39.6	12.1	51.7	30.4
50年	473,903	24.0	1,316,161	66.8	180,356	9.2	36.0	13.7	49.7	38.1
55年	466,840	22.9	1,355,601	66.6	212,704	10.5	34.4	15.7	50.1	45.6
60年	460,767	22.1	1,371,556	65.9	247,947	11.9	33.6	18.1	51.7	53.8
平成2年	422,064	20.1	1,377,857	65.5	301,552	14.3	30.6	21.9	52.5	71.4
7年	381,511	17.9	1,380,208	64.7	371,572	17.4	27.6	26.9	54.6	97.4
8年	374,548	17.5	1,377,358	64.5	385,314	18.0	27.2	28.0	55.2	102.9
9年	366,730	17.2	1,373,511	64.3	398,505	18.6	26.7	29.0	55.7	108.7
10年	358,629	16.8	1,368,989	64.1	410,776	19.2	26.2	30.0	56.2	114.5
11年	350,655	16.4	1,364,893	63.9	421,375	19.7	25.7	30.9	56.6	120.2
12年	341,038	16.0	1,353,500	63.6	431,797	20.3	25.2	31.9	57.1	126.6
13年	333,820	15.7	1,347,519	63.4	442,465	20.8	24.8	32.8	57.6	132.5
14年	327,292	15.4	1,339,192	63.2	452,298	21.3	24.4	33.8	58.2	138.2
15年	320,372	15.2	1,330,921	63.0	460,596	21.8	24.1	34.6	58.7	143.8
16年	314,449	14.9	1,324,047	62.9	465,754	22.1	23.7	35.2	58.9	148.1
17年	307,294	14.7	1,307,734	62.5	474,860	22.7	23.5	36.3	59.8	154.5
18年	301,513	14.5	1,295,007	62.3	482,235	23.2	23.3	37.2	60.5	159.9
19年	295,454	14.3	1,281,510	62.0	489,957	23.7	23.1	38.2	61.3	165.8
20年	289,998	14.1	1,267,314	61.7	496,753	24.2	22.9	39.2	62.1	171.3

(注1) 大正9年～平成7年、平成12年、平成17年は国勢調査、その他の年は福島県現住人口調査による。

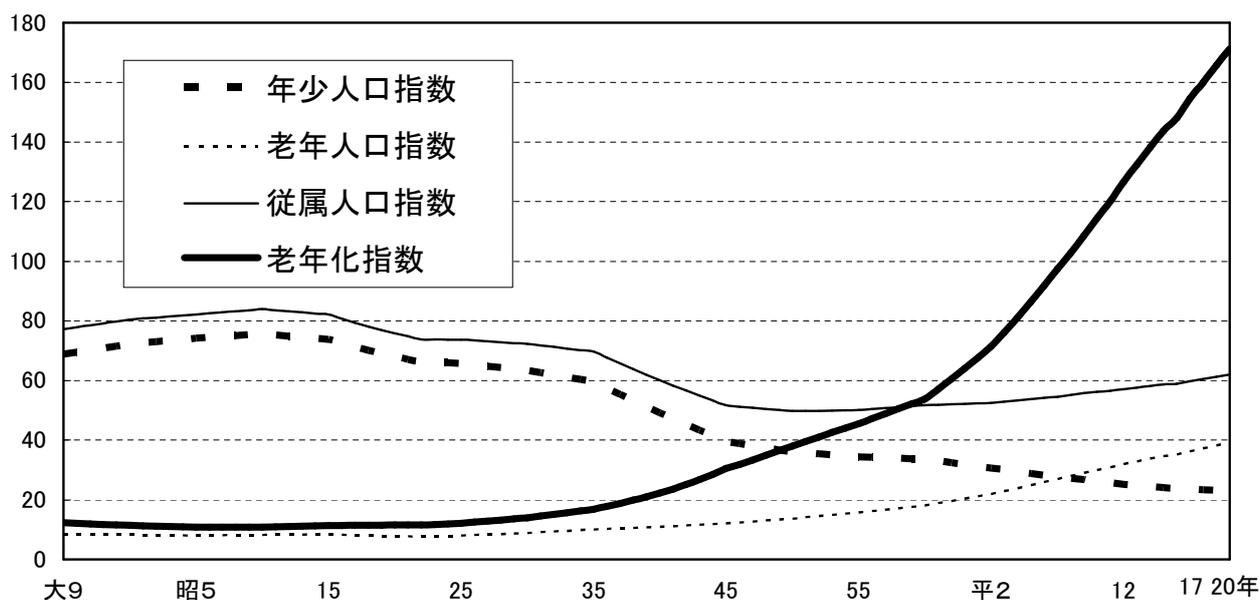
(注2) 年齢不明があるため、各年齢別人口の合計は同時期の人口に必ずしも一致しない。

## (2) 年齢構造指数の推移

年齢構造指数の推移をみると、年少人口指数は昭和15年以降一貫して低下を続けているが、老年人口指数は、戦後上昇を続けている。従属人口指数は昭和10年にピークを迎えたあと低下を続けていたが、昭和55年から緩やかに上昇している。

一方、老年化指数は、昭和25年までは安定して推移していたが、昭和30年以降緩やかに上昇し始め、平成に入ると急激な上昇となり、平成8年4月1日現在に初めて100を超え、平成20年10月1日現在では、171.3となっている。

図5 年齢構造指数の推移（大正9年～平成20年、各年10月1日現在）



### < 年齢構造指数 >

**年少（老年）人口指数** ----- 生産年齢人口100人が年少(老年)人口を何人養わなければならないかを表したもの。

$$\text{年少(老年)人口指数} = \text{年少(老年)人口} \div \text{生産年齢人口} \times 100$$

**従属人口指数** ----- 生産年齢人口100人が「子供」（年少人口）と「老人」（老年人口）を何人が養わなければならないかを表したもの。値が大きければ大きいほど負担が大きくなる。

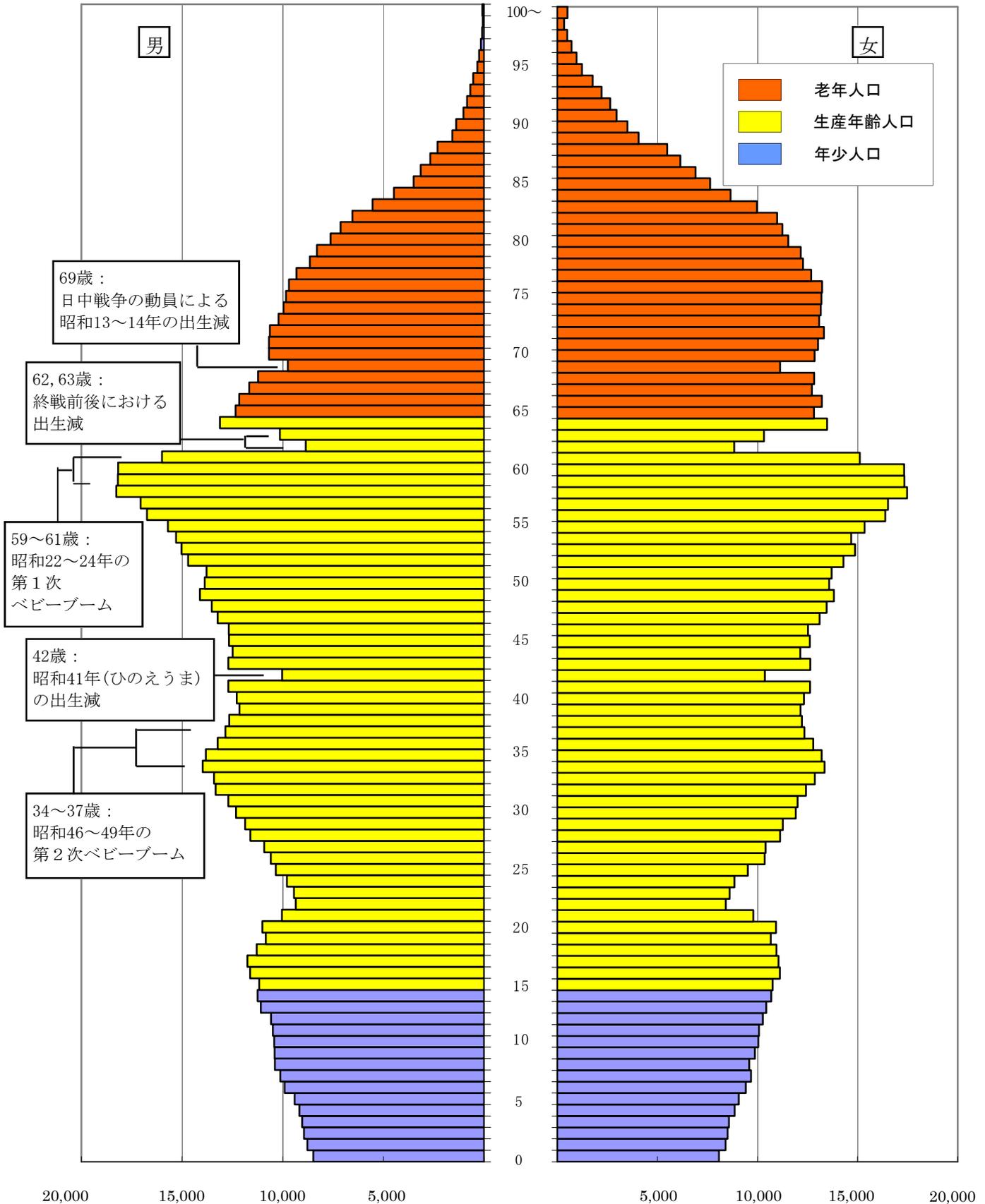
$$\text{従属人口指数} = (\text{年少人口} + \text{老年人口}) \div \text{生産年齢人口} \times 100$$

**老年化指数** ----- 人口の高齢化を表す指標の一つ。値が100を超えると、老年人口が年少人口を上回ったことを示す。

$$\text{老年化指数} = \text{老年人口} \div \text{年少人口} \times 100$$

図6 福島県の人口ピラミッド（平成20年10月1日現在）

(年齢)



人

人

## 4 市町村別人口

### (1) 市町村別人口

県内59市町村のうち、平成20年10月1日現在で最も人口が多いのはいわき市で347,979人、以下郡山市(339,196人)、福島市(294,480人)と続いている。

一方、最も人口が少なかったのは檜枝岐村で677人、以下昭和村(1,497人)、葛尾村(1,516人)と続いている。

表4 人口の多い市町村(平成20年10月1日現在)

順位	上位10市町村				下位10市町村			
	市町村名	人口(人)	男(人)	女(人)	市町村名	人口(人)	男(人)	女(人)
1	いわき市	347,979	168,758	179,221	檜枝岐村	677	332	345
2	郡山市	339,196	166,809	172,387	昭和村	1,497	708	789
3	福島市	294,480	141,550	152,930	葛尾村	1,516	796	720
4	会津若松市	128,591	61,103	67,488	三島町	2,066	958	1,108
5	須賀川市	79,844	38,986	40,858	金山町	2,561	1,190	1,371
6	南相馬市	71,296	34,465	36,831	川内村	3,000	1,512	1,488
7	伊達市	67,129	32,406	34,723	北塩原村	3,437	1,687	1,750
8	白河市	65,516	32,319	33,197	湯川村	3,461	1,642	1,819
9	二本松市	61,137	29,618	31,519	磐梯町	3,825	1,810	2,015
10	喜多方市	54,142	25,658	28,484	柳津町	4,006	1,937	2,069

### (2) 年齢3区分別人口比率

市町村別に平成20年10月1日現在の年齢3区分別人口比率を見ると、年少人口の比率が最も高い市町村は、中島村で16.29%、以下鏡石町(16.03%)、大熊町(16.00%)と続いている。

また、年少人口の比率が最も低い市町村は、金山町で6.33%、以下昭和村(7.28%)、三島町(8.13%)と続いている。

一方、老年人口比率が最も高い市町村は、金山町で54.90%、以下昭和村(54.71%)、三島町(46.32%)と続いている。

また、老年人口比率が最も低い市町村は、西郷村の17.77%、以下郡山市(19.18%)、鏡石町(20.39%)と続いている。

表5 年少・老年人口比率の高い市町村(平成20年10月1日現在)

順位	年少人口比率				老年人口比率			
	上位5市町村		下位5市町村		上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	比率(%)	市町村名	比率(%)	市町村名	比率(%)	市町村名	比率(%)
1	中島村	16.29	金山町	6.33	金山町	54.90	西郷村	17.77
2	鏡石町	16.03	昭和村	7.28	昭和村	54.71	郡山市	19.18
3	大熊町	16.00	三島町	8.13	三島町	46.32	鏡石町	20.39
4	西郷村	15.65	川内村	9.80	西会津町	41.21	富岡町	20.81
5	棚倉町	15.44	西会津町	10.21	只見町	41.04	大熊町	21.17

图7 市町村別人口（平成20年10月1日現在）

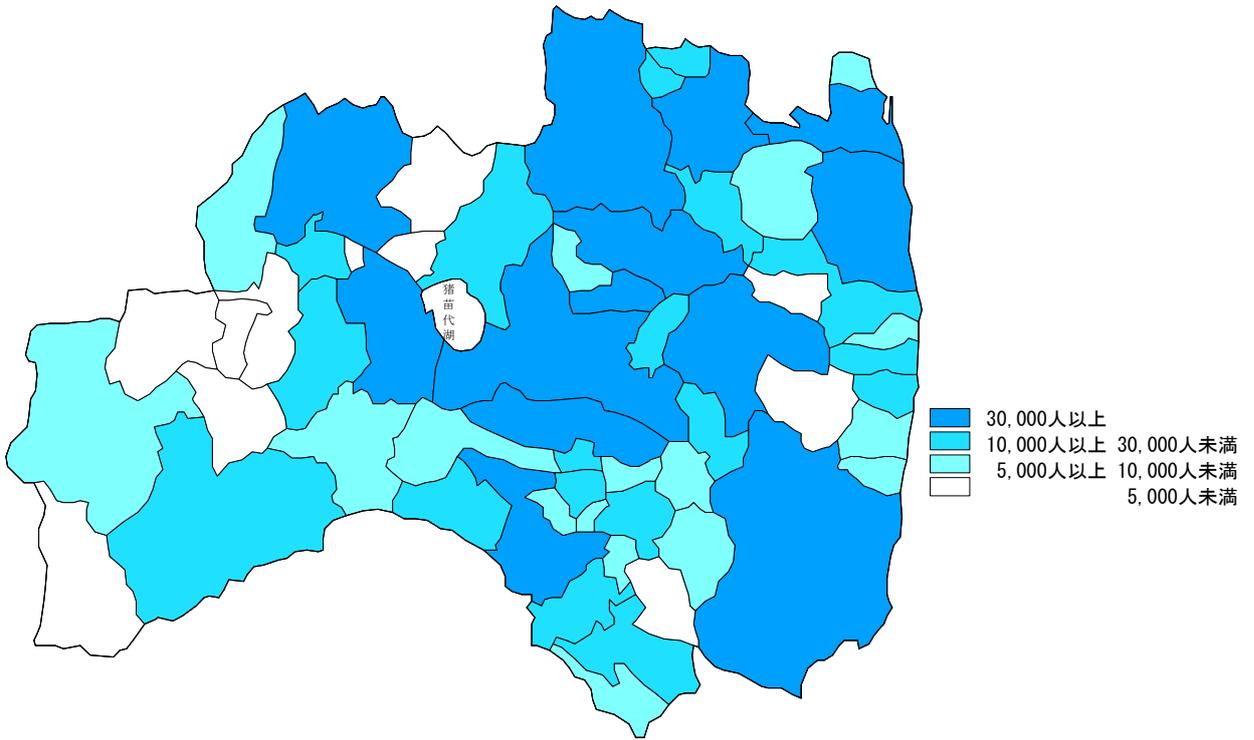
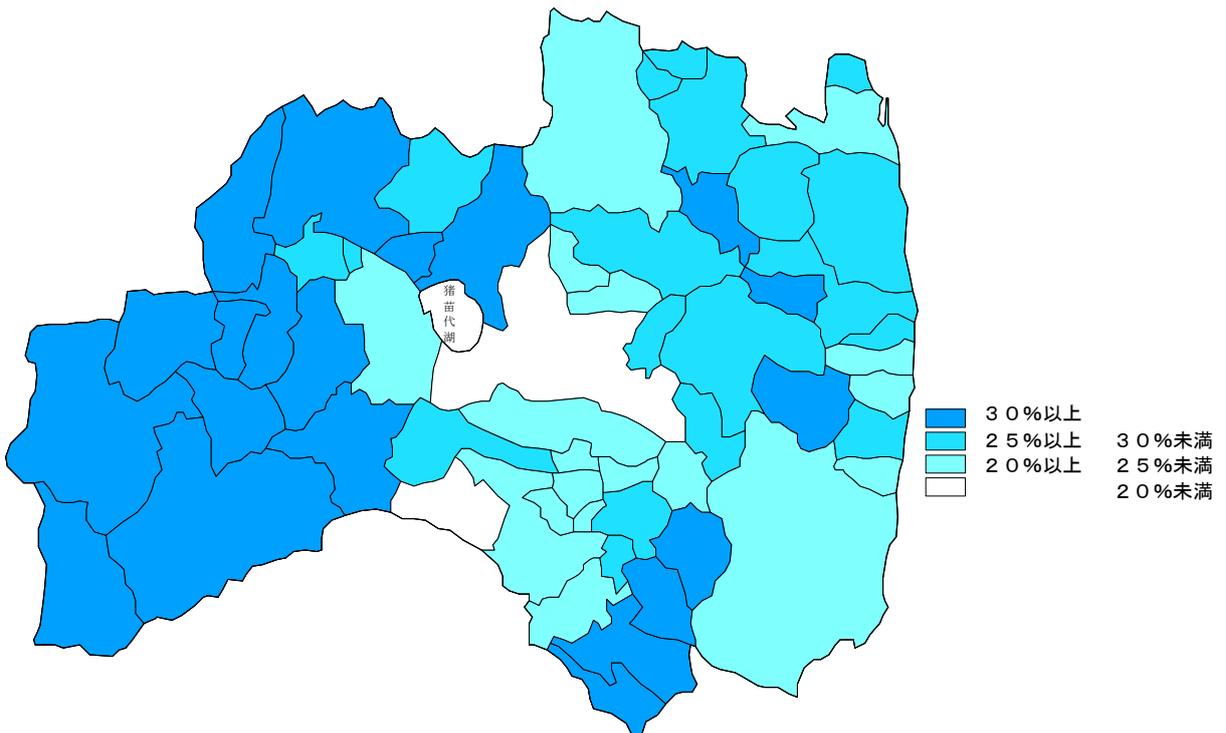


图8 市町村別老年人口比率（平成20年10月1日現在）



## 第2 人口動態

### 1 県の人口動態

#### (1) 県の人口動態

平成20年の人口動態は、自然増減が4,627人の減少、社会増減が8,074人の減少となり、その結果12,701人の人口減少となった。

前年と比較すると、自然増減が507人の減、社会増減が283人の増となり、その結果人口減少が224人増加した。

図9 人口増減数(自然・社会増減数)の推移(昭和45年～平成20年)

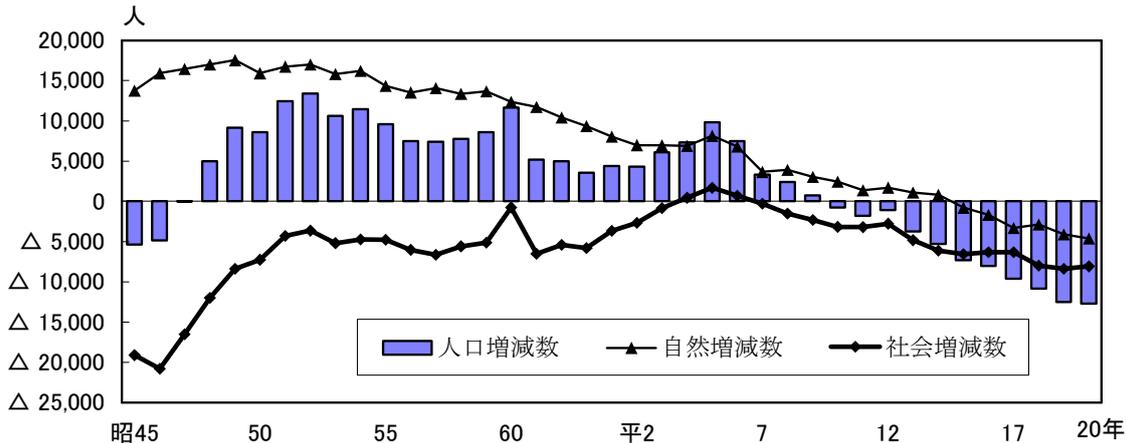


表6 人口増減数(自然・社会増減数)の推移(昭和45年～平成20年)

(単位：人、%)

年次	自然増減		社会増減		人口増減		年初人口 (各年1月1日現在)
	実数	率	実数	率	実数	率	
昭和45年	13,733	0.70	△ 19,103	△ 0.98	△ 5,370	△ 0.27	1,955,088
46年	15,930	0.82	△ 20,796	△ 1.07	△ 4,866	△ 0.25	1,948,006
47年	16,462	0.85	△ 16,491	△ 0.85	△ 29	△ 0.00	1,942,795
48年	17,009	0.88	△ 12,002	△ 0.62	5,007	0.26	1,942,989
49年	17,545	0.90	△ 8,375	△ 0.43	9,170	0.47	1,947,994
50年	15,901	0.81	△ 7,269	△ 0.37	8,632	0.44	1,957,723
51年	16,742	0.85	△ 4,304	△ 0.22	12,438	0.63	1,975,806
52年	17,015	0.86	△ 3,626	△ 0.18	13,389	0.67	1,988,617
53年	15,814	0.79	△ 5,186	△ 0.26	10,628	0.53	2,002,020
54年	16,188	0.80	△ 4,716	△ 0.23	11,472	0.57	2,012,534
55年	14,362	0.71	△ 4,754	△ 0.23	9,608	0.47	2,023,796
56年	13,521	0.66	△ 6,012	△ 0.29	7,509	0.37	2,039,119
57年	14,059	0.69	△ 6,628	△ 0.32	7,431	0.36	2,046,587
58年	13,349	0.65	△ 5,603	△ 0.27	7,746	0.38	2,054,458
59年	13,674	0.66	△ 5,113	△ 0.25	8,561	0.42	2,062,418
60年	12,385	0.60	△ 745	△ 0.04	11,640	0.56	2,071,325
61年	11,722	0.56	△ 6,548	△ 0.31	5,174	0.25	2,083,356
62年	10,411	0.50	△ 5,404	△ 0.26	5,007	0.24	2,088,766
63年	9,350	0.45	△ 5,809	△ 0.28	3,541	0.17	2,094,157
平成元年	8,041	0.38	△ 3,671	△ 0.17	4,370	0.21	2,098,002
2年	6,994	0.33	△ 2,675	△ 0.13	4,319	0.21	2,102,485
3年	6,937	0.33	△ 852	△ 0.04	6,085	0.29	2,106,847
4年	6,006	0.28	432	0.02	6,438	0.30	2,112,932
5年	4,783	0.23	1,673	0.08	6,456	0.30	2,119,370
6年	5,429	0.26	690	0.03	6,119	0.29	2,125,826
7年	3,649	0.17	△ 295	△ 0.01	3,354	0.16	2,131,945
8年	3,903	0.18	△ 1,496	△ 0.07	2,407	0.11	2,135,299
9年	3,039	0.14	△ 2,291	△ 0.11	748	0.03	2,137,706
10年	2,444	0.11	△ 3,184	△ 0.15	△ 740	△ 0.03	2,138,454
11年	1,388	0.06	△ 3,195	△ 0.15	△ 1,807	△ 0.08	2,137,714
12年	1,704	0.08	△ 2,778	△ 0.13	△ 1,074	△ 0.05	2,135,907
13年	1,090	0.05	△ 4,835	△ 0.23	△ 3,745	△ 0.18	2,128,270
14年	815	0.04	△ 6,122	△ 0.29	△ 5,307	△ 0.25	2,124,525
15年	△ 770	△ 0.04	△ 6,557	△ 0.31	△ 7,327	△ 0.35	2,119,218
16年	△ 1,690	△ 0.08	△ 6,313	△ 0.30	△ 8,003	△ 0.38	2,111,891
17年	△ 3,300	△ 0.16	△ 6,305	△ 0.30	△ 9,605	△ 0.46	2,103,888
18年	△ 2,870	△ 0.14	△ 7,964	△ 0.38	△ 10,834	△ 0.52	2,090,107
19年	△ 4,120	△ 0.20	△ 8,357	△ 0.40	△ 12,477	△ 0.60	2,079,273
20年	△ 4,627	△ 0.22	△ 8,074	△ 0.39	△ 12,701	△ 0.61	2,066,796
20-19	△ 507		283		△ 224		H21.1.1現在 2,054,095

(注) 率は年初人口(各年1月1日現在)に対する割合

(2) 県の自然動態

平成20年の自然動態は、出生 16,788人（男 8,628人、女 8,160人、性比 105.7）、死亡 21,415人（男 11,214人、女 10,201人、性比 109.9）で、差し引き 4,627人の自然減少となった。

前年と比較すると、出生が423人の減、死亡が84人の増となり、その結果自然減少が507人増加した。

また、出生率は0.81%、死亡率1.04%となり、前年に比べ出生率は0.02ポイント減、死亡率は0.01ポイント増となった。

図10 出生数・死亡数、自然増減数の推移（昭和45年～平成20年）

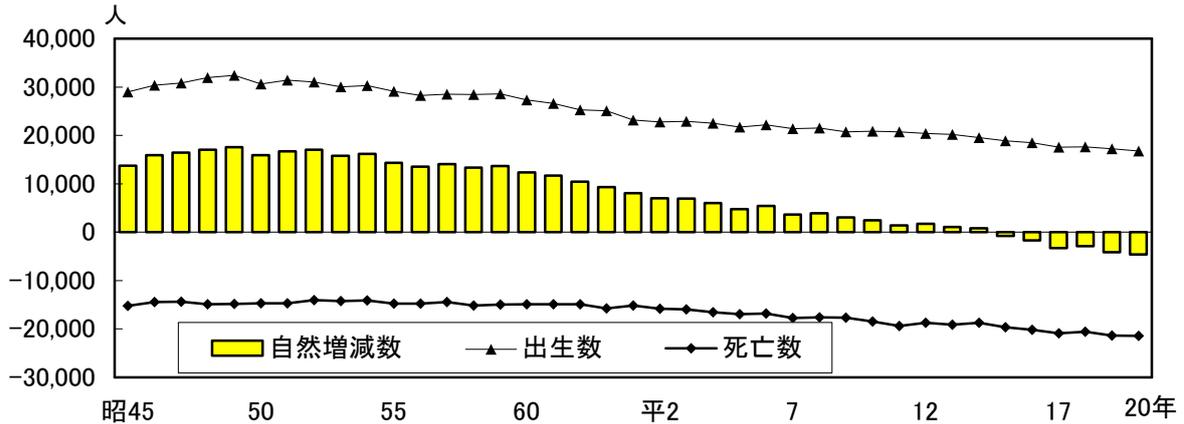


表7 出生数・死亡数、自然増減数の推移（昭和45年～平成20年）（単位：人、%）

年次	出生数		死亡数		自然増減数		年初人口 (各年1月1日現在)
	数	率	数	率	数	率	
昭和45年	28,987	1.48	15,254	0.78	13,733	0.70	1,955,088
46年	30,391	1.56	14,461	0.74	15,930	0.82	1,948,006
47年	30,856	1.59	14,394	0.74	16,462	0.85	1,942,795
48年	31,931	1.64	14,922	0.77	17,009	0.88	1,942,989
49年	32,402	1.66	14,857	0.76	17,545	0.90	1,947,994
50年	30,608	1.56	14,707	0.75	15,901	0.81	1,957,723
51年	31,438	1.59	14,696	0.74	16,742	0.85	1,975,806
52年	31,036	1.56	14,021	0.71	17,015	0.86	1,988,617
53年	30,025	1.50	14,211	0.71	15,814	0.79	2,002,020
54年	30,313	1.51	14,125	0.70	16,188	0.80	2,012,534
55年	29,121	1.44	14,759	0.73	14,362	0.71	2,023,796
56年	28,283	1.39	14,762	0.72	13,521	0.66	2,039,119
57年	28,506	1.39	14,447	0.71	14,059	0.69	2,046,587
58年	28,485	1.39	15,136	0.74	13,349	0.65	2,054,458
59年	28,602	1.39	14,928	0.72	13,674	0.66	2,062,418
60年	27,301	1.32	14,916	0.72	12,385	0.60	2,071,325
61年	26,638	1.28	14,916	0.72	11,722	0.56	2,083,356
62年	25,316	1.21	14,905	0.71	10,411	0.50	2,088,766
63年	25,099	1.20	15,749	0.75	9,350	0.45	2,094,157
平成元年	23,201	1.11	15,160	0.72	8,041	0.38	2,098,002
2年	22,783	1.08	15,789	0.75	6,994	0.33	2,102,485
3年	22,902	1.09	15,965	0.76	6,937	0.33	2,106,847
4年	22,530	1.07	16,524	0.78	6,006	0.28	2,112,932
5年	21,748	1.03	16,965	0.80	4,783	0.23	2,119,370
6年	22,215	1.05	16,786	0.79	5,429	0.26	2,125,826
7年	21,409	1.00	17,760	0.83	3,649	0.17	2,131,945
8年	21,506	1.01	17,603	0.82	3,903	0.18	2,135,299
9年	20,732	0.97	17,693	0.83	3,039	0.14	2,137,706
10年	20,888	0.98	18,444	0.86	2,444	0.11	2,138,454
11年	20,748	0.97	19,360	0.91	1,388	0.06	2,137,714
12年	20,401	0.96	18,697	0.88	1,704	0.08	2,135,907
13年	20,181	0.95	19,091	0.90	1,090	0.05	2,128,270
14年	19,527	0.92	18,712	0.88	815	0.04	2,124,525
15年	18,902	0.89	19,672	0.93	△ 770	△ 0.04	2,119,218
16年	18,472	0.87	20,162	0.95	△ 1,690	△ 0.08	2,111,891
17年	17,598	0.84	20,898	0.99	△ 3,300	△ 0.16	2,103,888
18年	17,665	0.85	20,535	0.98	△ 2,870	△ 0.14	2,090,107
19年	17,211	0.83	21,331	1.03	△ 4,120	△ 0.20	2,079,273
20年	16,788	0.81	21,415	1.04	△ 4,627	△ 0.22	2,066,796
20-19	△ 423		84		△ 507		H21.1.1現在 2,054,095

(注) 率は年初人口（各年1月1日現在）に対する割合

(3) 県の社会動態

平成20年の社会動態は、転入者が31,540人、転出者が39,614人で、差し引き8,074人の転出超過となった。

前年と比較すると、転入が1,110人の減、転出も1,393人の減となり、その結果転出超過が283人減少している。

図11 転入・転出者数、社会増減数の推移(昭和45年～平成20年)

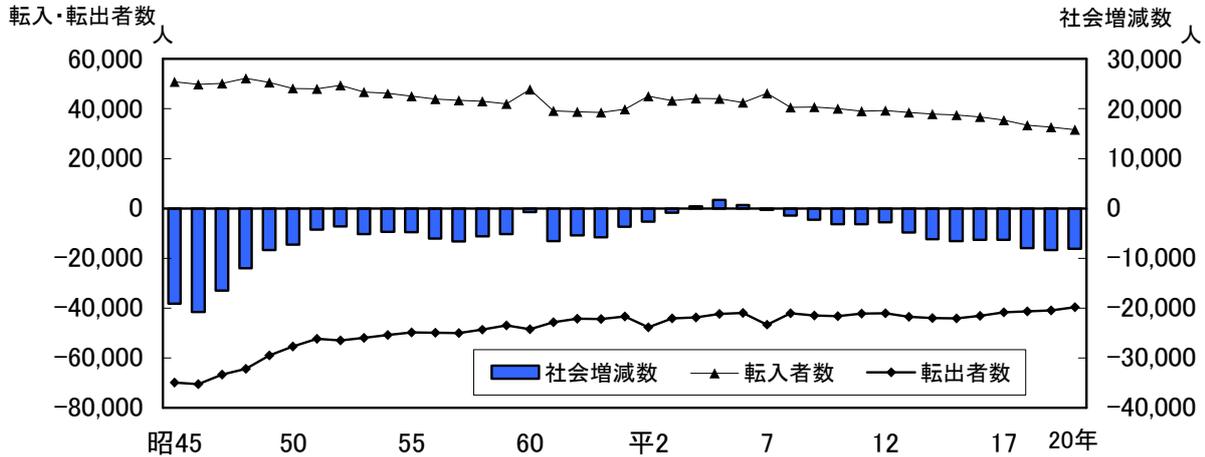


表8 転入・転出者数、社会増減数の推移(昭和45年～平成20年) (単位:人、%)

年次	転入者数 (注1)		転出者数 (注2)		社会増減数		年初人口 (各年1月1日現在)
	数	率	数	率	数	率	
昭和45年	50,787	2.60	69,890	3.57	△ 19,103	△ 0.98	1,955,088
46年	49,727	2.55	70,523	3.62	△ 20,796	△ 1.07	1,948,006
47年	50,090	2.58	66,581	3.43	△ 16,491	△ 0.85	1,942,795
48年	52,323	2.69	64,325	3.31	△ 12,002	△ 0.62	1,942,989
49年	50,654	2.60	59,029	3.03	△ 8,375	△ 0.43	1,947,994
50年	48,149	2.46	55,418	2.83	△ 7,269	△ 0.37	1,957,723
51年	47,942	2.43	52,246	2.64	△ 4,304	△ 0.22	1,975,806
52年	49,391	2.48	53,017	2.67	△ 3,626	△ 0.18	1,988,617
53年	46,700	2.33	51,886	2.59	△ 5,186	△ 0.26	2,002,020
54年	46,122	2.29	50,838	2.53	△ 4,716	△ 0.23	2,012,534
55年	45,017	2.22	49,771	2.46	△ 4,754	△ 0.23	2,023,796
56年	43,890	2.15	49,902	2.45	△ 6,012	△ 0.29	2,039,119
57年	43,393	2.12	50,021	2.44	△ 6,628	△ 0.32	2,046,587
58年	43,054	2.10	48,657	2.37	△ 5,603	△ 0.27	2,054,458
59年	41,927	2.03	47,040	2.28	△ 5,113	△ 0.25	2,062,418
60年	47,717	2.30	48,462	2.34	△ 745	△ 0.04	2,071,325
61年	39,160	1.88	45,708	2.19	△ 6,548	△ 0.31	2,083,356
62年	38,781	1.86	44,185	2.12	△ 5,404	△ 0.26	2,088,766
63年	38,549	1.84	44,358	2.12	△ 5,809	△ 0.28	2,094,157
平成元年	39,741	1.89	43,412	2.07	△ 3,671	△ 0.17	2,098,002
2年	45,008	2.14	47,683	2.27	△ 2,675	△ 0.13	2,102,485
3年	43,228	2.05	44,080	2.09	△ 852	△ 0.04	2,106,847
4年	44,198	2.09	43,766	2.07	432	0.02	2,112,932
5年	44,001	2.08	42,328	2.00	1,673	0.08	2,119,370
6年	42,580	2.00	41,890	1.97	690	0.03	2,125,826
7年	46,281	2.17	46,576	2.18	△ 295	△ 0.01	2,131,945
8年	41,104	1.92	42,600	2.00	△ 1,496	△ 0.07	2,135,299
9年	40,671	1.90	42,962	2.01	△ 2,291	△ 0.11	2,137,706
10年	40,017	1.87	43,201	2.02	△ 3,184	△ 0.15	2,138,454
11年	39,008	1.82	42,203	1.97	△ 3,195	△ 0.15	2,137,714
12年	39,289	1.84	42,067	1.97	△ 2,778	△ 0.13	2,135,907
13年	38,613	1.81	43,448	2.04	△ 4,835	△ 0.23	2,128,270
14年	37,800	1.78	43,922	2.07	△ 6,122	△ 0.29	2,124,525
15年	37,482	1.77	44,039	2.08	△ 6,557	△ 0.31	2,119,218
16年	36,774	1.74	43,087	2.04	△ 6,313	△ 0.30	2,111,891
17年	35,381	1.68	41,686	1.98	△ 6,305	△ 0.30	2,103,888
18年	33,349	1.60	41,313	1.98	△ 7,964	△ 0.38	2,090,107
19年	32,650	1.57	41,007	1.97	△ 8,357	△ 0.40	2,079,273
20年	31,540	1.53	39,614	1.92	△ 8,074	△ 0.39	2,066,796
19-18	△ 1,110		△ 1,393		283		H21. 1. 1現在 2,054,095

(注1) 転入者数 = 県外からの転入者 + 「従前地不詳等」の転入者

(注2) 転出者数 = 県外への転出者 + 「転出先不明等」の転出者

(注3) 転入(転出)率は年初人口(各年1月1日現在)に対する割合

## 2 方部別人口動態

### (1) 方部別人口動態

県内7方部別にみると、すべての方部で人口が減少している。

人口の減少が最も大きいのは会津で2,801人の減、以下県北(2,790人減)、いわき(2,271人減)と続いている。

また、人口の減少率が最も高いのは南会津で、2.01%の減となっている。

表9 方部別人口動態(平成20年)

(単位:人、%)

方部	自然動態		社会動態(注1)		人口動態		年初人口 (平成20年 1月1日現在)
	実数	率(注2)	実数	率(注2)	実数	率(注2)	
県計	△4,627	△0.22	△8,074	△0.39	△12,701	△0.61	2,066,796
市部	△2,528	△0.16	△5,418	△0.33	△7,946	△0.49	1,628,525
郡部	△2,099	△0.48	△2,656	△0.61	△4,755	△1.08	438,271
県北管内	△1,110	△0.22	△1,680	△0.33	△2,790	△0.55	505,091
県中管内	△82	△0.01	△1,545	△0.28	△1,627	△0.29	558,161
県南管内	△339	△0.22	△573	△0.38	△912	△0.60	152,478
会津管内	△1,177	△0.43	△1,624	△0.60	△2,801	△1.03	271,191
南会津管内	△295	△0.93	△341	△1.08	△636	△2.01	31,717
相双管内	△620	△0.31	△1,044	△0.53	△1,664	△0.84	198,211
いわき管内	△1,004	△0.29	△1,267	△0.36	△2,271	△0.65	349,947

(注1) 「従前地不詳等」の転入者及び「転出先不明等」の転出者を含む。

(注2) 増減率は年初人口(平成20年1月1日現在)に対する割合

### (2) 方部別自然動態

県内7方部別にみると、出生率では県中が0.88%と最も高く、以下いわき(0.83%)、相双(0.82%)と続いており、最も低いのは南会津で0.63%となっている。

一方、死亡率では南会津が1.56%と最も高く、会津が1.17%でそれに続いている。

また、自然増減は7方部すべてにおいて自然減少となっている。その中で減少率が最も低いのは県中で0.01%の減、最も高いのは南会津で0.93%の減となっている。

表10 方部別自然動態(平成20年)

(単位:人、%)

方部	出生		死亡		自然増減	
	実数	率	実数	率	実数	率
県計	16,788	0.81	21,415	1.04	△4,627	△0.22
市部	13,657	0.84	16,185	0.99	△2,528	△0.16
郡部	3,131	0.71	5,230	1.19	△2,099	△0.48
県北管内	3,917	0.78	5,027	1.00	△1,110	△0.22
県中管内	4,914	0.88	4,996	0.90	△82	△0.01
県南管内	1,233	0.81	1,572	1.03	△339	△0.22
会津管内	1,986	0.73	3,163	1.17	△1,177	△0.43
南会津管内	199	0.63	494	1.56	△295	△0.93
相双管内	1,627	0.82	2,247	1.13	△620	△0.31
いわき管内	2,912	0.83	3,916	1.12	△1,004	△0.29

(注) 率は平成20年1月1日現在人口に対する割合

### (3) 方部別社会動態

県内移動を含めた社会増減を方部別にみると、7方部すべてにおいて転出超過となっている。その中で減少率が最も低いのは県中で0.28%の減、最も高いのは南会津で1.08%の減となっている。

表1-1 方部別社会動態（平成20年） (単位：人、%)

動態 方部	転入者数				転出者数				社会増減	
	県内		県外(注1)		県内		県外(注2)		実数	率
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率		
県計	29,967	1.45	31,540	1.53	29,967	1.45	39,614	1.92	△8,074	△0.39
市部	21,883	1.34	26,314	1.62	20,864	1.28	32,751	2.01	△5,418	△0.33
郡部	8,084	1.84	5,226	1.19	9,103	2.08	6,863	1.57	△2,656	△0.61
県北管内	8,008	1.59	7,288	1.44	7,677	1.52	9,299	1.84	△1,680	△0.33
県中管内	8,850	1.59	9,639	1.73	8,494	1.52	11,540	2.07	△1,545	△0.28
県南管内	3,106	2.04	2,508	1.64	3,176	2.08	3,011	1.97	△573	△0.38
会津管内	4,280	1.58	3,259	1.20	4,558	1.68	4,605	1.70	△1,624	△0.60
南会津管内	482	1.52	327	1.03	660	2.08	490	1.54	△341	△1.08
相双管内	3,042	1.53	3,026	1.53	3,353	1.69	3,759	1.90	△1,044	△0.53
いわき管内	2,199	0.63	5,493	1.57	2,049	0.59	6,910	1.97	△1,267	△0.36

(注1) 「従前地不詳等」の転入者を含む。

(注2) 「転出先不明等」の転出者を含む。

(注3) 率は年初人口（平成20年1月1日現在）に対する割合

## 3 市町村別人口動態

### (1) 市町村別人口動態

県内59市町村のうち、平成20年1年間に人口の増加した市町村数は6、減少した市町村数は53で、前年に比べ、人口増の市町村は2増加した。

このうち、増加数の最も多かったのは、郡山市で165人の増加、以下西郷村（81人増）、大熊町（73人増）と続いている。

一方、減少数の最も多かったのは、いわき市で2,271人の減少、以下福島市（994人減）、会津若松市（793人減）と続いている。

表1-2 人口増減数の多い市町村（平成20年） (単位：人、%)

順位	人口増加数の多い市町村					人口減少数の多い市町村				
	市町村	増加数			増加率	市町村	減少数			減少率
		総数	自然増減数	社会増減数			総数	自然増減数	社会増減数	
1	郡山市	165	474	△309	0.05	いわき市	△2,271	△1,004	△1,267	△0.65
2	西郷村	81	△10	91	0.41	福島市	△994	△270	△724	△0.34
3	大熊町	73	34	39	0.66	会津若松市	△793	△171	△622	△0.61
4	大玉村	34	△2	36	0.40	二本松市	△725	△260	△465	△1.18
5	北塩原村	23	△9	32	0.67	喜多方市	△711	△353	△358	△1.30

(注1) 増減率は年初人口（平成20年1月1日現在）に対する割合

(注2) 福島市には、旧飯野町分を含む。

また、増減率をみると、増加率の最も高かったのは、北塩原村で0.67%の増加、以下大熊町（0.66%増）、西郷村（0.41%増）と続いている。

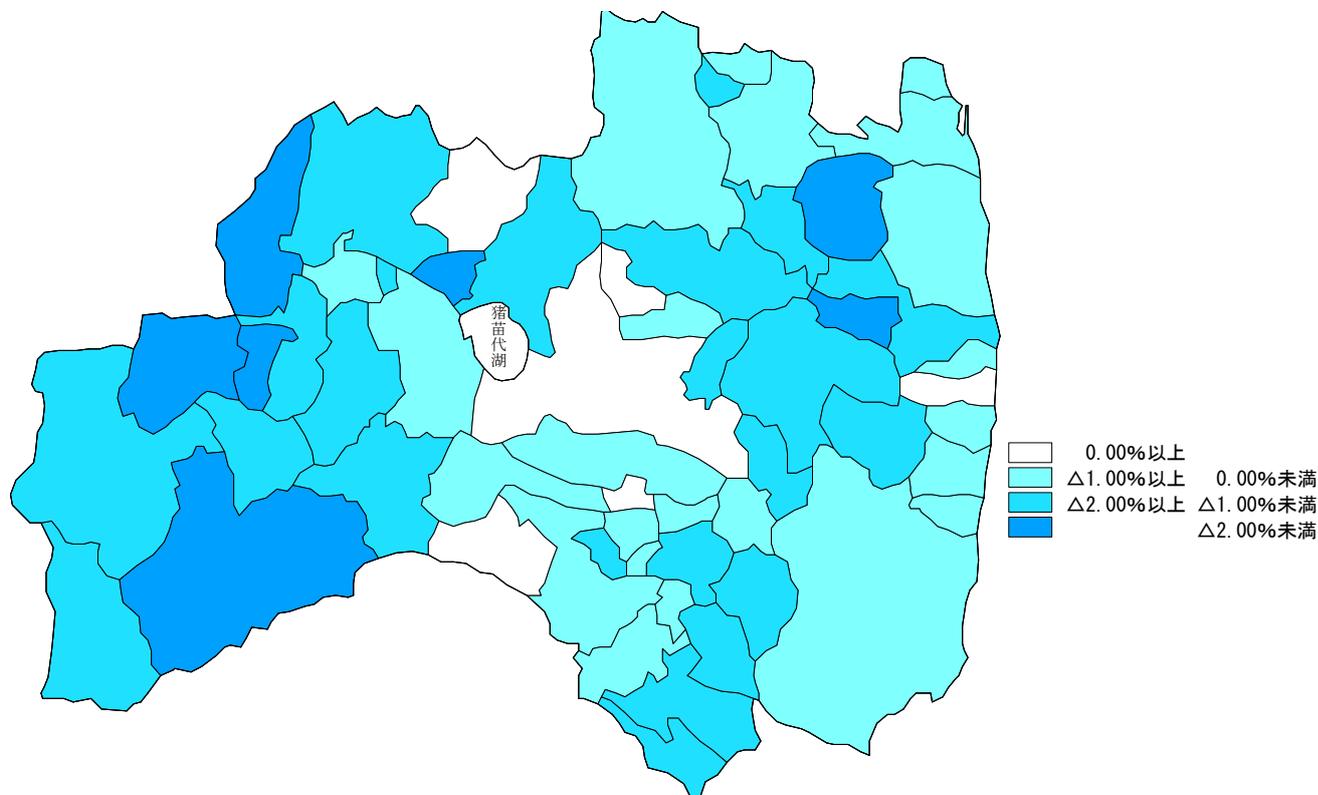
一方、減少率の最も高かったのは、金山町で4.01%の減少、以下葛尾村（3.10%減）、三島町（2.98%減）と続いている。

表 1 3 人口増減率の高い市町村（平成20年） (単位:%、人)

順位	人口増加率の高い市町村					人口減少率の高い市町村				
	市町村	増加率	増加数			市町村	減少率	減少数		
			総数	自然増減数	社会増減数			総数	自然増減数	社会増減数
1	北塩原村	0.67	23	△9	32	金山町	△4.01	△106	△57	△49
2	大熊町	0.66	73	34	39	葛尾村	△3.10	△48	△16	△32
3	西郷村	0.41	81	△10	91	三島町	△2.98	△63	△20	△43
4	大玉村	0.40	34	△2	36	磐梯町	△2.31	△90	△42	△48
5	郡山市	0.05	165	474	△309	飯舘村	△2.30	△147	△55	△92

(注) 増減率は年初人口（平成20年1月1日現在）に対する割合

図 1 2 市町村別人口増減率（平成20年）



(2) 市町村別自然動態

市町村別にみると、59市町村のうち自然増加の市町村が5、自然減少が54となっている。出生率の最も高いのは大熊町で1.16%、以下玉川村(0.96%)、郡山市(0.93%)と続いている。

また、死亡率の最も高いのは金山町で2.23%、昭和村が2.11%でそれに続いている。

自然増加率の最も高いのは大熊町で0.31%、以下鏡石町(0.16%)、郡山市(0.14%)と続いている。一方、自然減少率の最も高いのは金山町で2.16%の減、昭和村が1.71%の減でそれに続いている。

表14 出生率、死亡率、自然増減率の高い(低い)市町村(平成20年) (単位:人、%)

順位	出生率				死亡率				自然増減率			
	上位5市町村		下位5市町村		上位5市町村		下位5市町村		上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	率										
1	大熊町	1.16	金山町	0.08	金山町	2.23	鏡石町	0.75	大熊町	0.31	金山町	△ 2.16
2	玉川村	0.96	磐梯町	0.28	昭和村	2.11	郡山市	0.79	鏡石町	0.16	昭和村	△ 1.71
3	郡山市	0.93	檜枝岐村	0.29	只見町	1.83	大熊町	0.86	郡山市	0.14	只見町	△ 1.27
4	大玉村	0.91	三島町	0.33	柳津町	1.73	玉川村	0.89	玉川村	0.07	西会津町	△ 1.25
5	鏡石町	0.91	葛尾村	0.39	西会津町	1.71	須賀川市	0.90	須賀川市	0.00	川内村	△ 1.22

(注) 率は平成20年1月1日現在人口に対する割合

(3) 市町村別社会動態

市町村別にみると、59市町村のうち社会増加の市町村が5、社会減少が53、増減無しが1となっている。

そのうち、社会増加数の多いのは西郷村で91人、以下大熊町(39人)、大玉村(36人)と続いている。

また、社会増加率の最も高いのは、北塩原村で0.94%、以下西郷村(0.46%)、大玉村(0.43%)と続いている。

一方、社会減少数の最も多いのは、いわき市で1,267人の減、以下福島市(724人減)、会津若松市(622人減)と続いている。

また、社会減少率が最も高いのは、葛尾村で2.06%の減、以下三島町(2.03%減)、金山町(1.85%減)と続いている。

表15 社会増減数(率)の多い(高い)市町村(平成20年) (単位:人、%)

順位	社会増減数				社会増減率			
	上位5市町村		下位5市町村		上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	増減数	市町村名	増減数	市町村名	増減率	市町村名	増減率
1	西郷村	91	いわき市	△ 1,267	北塩原村	0.94	葛尾村	△ 2.06
2	大熊町	39	福島市	△ 724	西郷村	0.46	三島町	△ 2.03
3	大玉村	36	会津若松市	△ 622	大玉村	0.43	金山町	△ 1.85
4	北塩原村	32	須賀川市	△ 476	大熊町	0.35	飯舘村	△ 1.44
5	本宮市	3	二本松市	△ 465	本宮市	0.01	埴町	△ 1.35

(注1) 増減率は年初人口(平成20年1月1日現在)に対する割合

(注2) 福島市には、旧飯野町分を含む。

### 第3 移動者の状況

#### 1 月別移動者数

県外移動を月別にみると、転入の最も多いのは3月で5,782人、次いで4月が5,223人となっている。

一方、転出が最も多いのは3月で12,253人、次いで4月が4,369人となっている。

社会動態をみると、転入超過の最も多いのは4月で854人、反対に3月は6,471人の大幅な転出超過となっている。これは、移動者の住民異動届の手続き（転出、転入）にタイムラグがあることが主な原因と考えられる。

また、県内移動を月別にみると、3月が6,598人で最も多く、次いで4月が5,224人となっている。

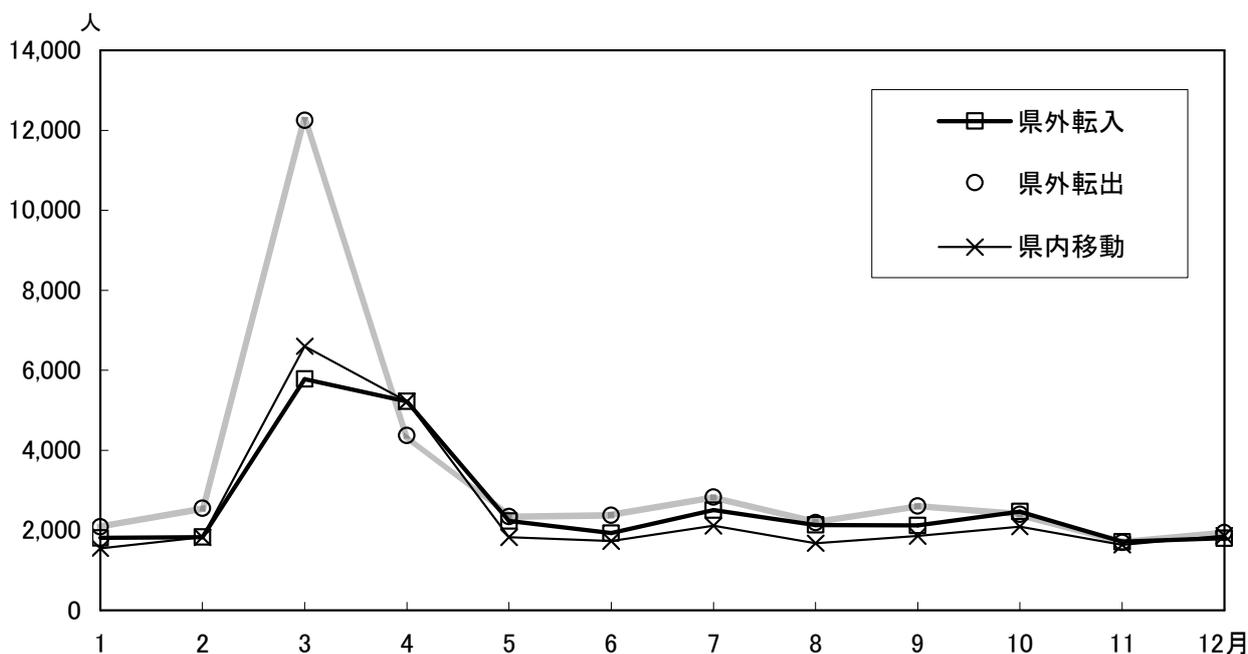
表16 月別県外転入・転出者数、社会増減数、県内移動者数(平成20年) (単位:人)

月別	県外転入者(A) (注1)	県外転出者(B) (注2)	社会増減数 (A)-(B)	県内移動者
1月	1,811	2,085	△ 274	1,543
2月	1,829	2,544	△ 715	1,821
3月	5,782	12,253	△ 6,471	6,598
4月	5,223	4,369	854	5,224
5月	2,229	2,338	△ 109	1,822
6月	1,931	2,372	△ 441	1,730
7月	2,499	2,827	△ 328	2,110
8月	2,132	2,188	△ 56	1,676
9月	2,119	2,605	△ 486	1,857
10月	2,465	2,398	67	2,091
11月	1,717	1,692	25	1,633
12月	1,803	1,943	△ 140	1,862
計	31,540	39,614	△ 8,074	29,967

(注1) 「従前地不詳等」の転入者を含む。

(注2) 「転出先不明等」の転出者を含む。

図13 月別県外転入・転出者、県内移動者(平成20年)



## 2 移動者の従前地及び転出先

### (1) 他の都道府県との移動

福島県と他の都道府県間の人口移動をみると、転入者数が最も多いのは東京都で4,692人、以下宮城県(4,684人)、神奈川県(2,427人)と続いている。

また、転出者数が最も多いのも東京都で7,454人、以下宮城県(5,453人)、神奈川県(3,630人)と続いている。

表17 地域別転入・転出者数、転入超過数(平成20年)

	転入者		転出者		転入超過 (A)-(B)
	実数(A)	構成比	実数(B)	構成比	
総数	30,987	100.0	38,883	100.0	△7,896
北海道	754	2.4	641	1.6	113
東北	8,133	26.2	8,491	21.8	△358
青森県	663	2.1	594	1.5	69
岩手県	909	2.9	771	2.0	138
宮城県	4,684	15.1	5,453	14.0	△769
秋田県	593	1.9	501	1.3	92
山形県	1,284	4.1	1,172	3.0	112
関東	14,330	46.2	21,536	55.4	△7,206
茨城県	1,691	5.5	2,205	5.7	△514
栃木県	1,333	4.3	1,870	4.8	△537
群馬県	404	1.3	523	1.3	△119
埼玉県	2,116	6.8	3,187	8.2	△1,071
千葉県	1,667	5.4	2,667	6.9	△1,000
東京都	4,692	15.1	7,454	19.2	△2,762
神奈川県	2,427	7.8	3,630	9.3	△1,203
中部	2,434	7.9	3,005	7.7	△571
新潟県	720	2.3	892	2.3	△172
近畿	862	2.8	1,117	2.9	△255
中国・四国	399	1.3	410	1.1	△11
九州・沖縄	547	1.8	641	1.6	△94
外国	3,528	11.4	3,042	7.8	486

(単位：人、%)

(注) 「従前地不詳等」の転入者、「転出先不明等」の転出者は含まない。

図14 都道府県別転入者数(平成20年)

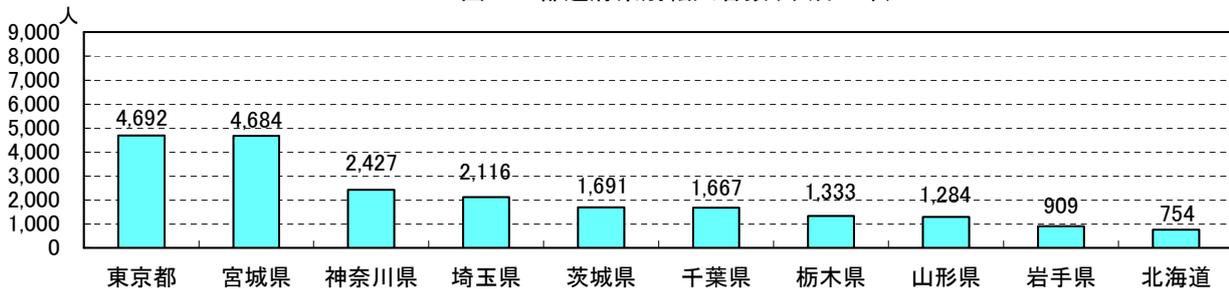
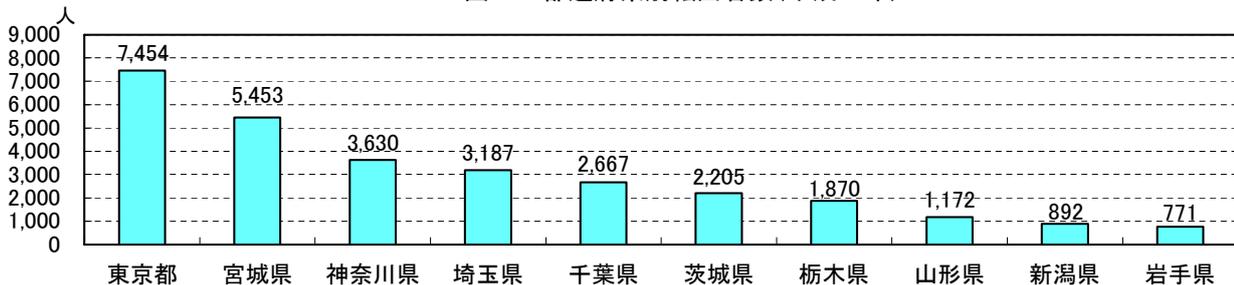


図15 都道府県別転出者数(平成20年)



(2) 方部別状況

方部別に県内の人口移動をみると、南会津及びいわきを除く5方部で、方部内移動が最も多くなっている。また、方部間の移動では、県北、県南、会津、いわきで県中との移動が最も多く、県中、相双は県北、南会津は会津との移動が最も多い。

次に県外との人口移動をみると、県南、会津、南会津、いわき方部では東京都が転入、転出とも最も多く、県北、相双では宮城県が転入、転出とも最も多い。

表18 方部別県内移動者数（平成20年）（単位：人）

従前地	転出先	計	県北管内	県中管内	県南管内	会津管内	南会津管内	相双管内	いわき管内
計		29,967	8,008	8,850	3,106	4,280	482	3,042	2,199
県北管内		7,677	3,647	1,940	318	602	93	516	561
県中管内		8,494	1,979	3,838	847	673	92	284	781
県南管内		3,176	326	883	1,575	159	18	56	159
会津管内		4,558	721	990	119	2,264	180	94	190
南会津管内		660	100	127	25	290	75	12	31
相双管内		3,353	655	371	87	94	10	1,659	477
いわき管内		2,049	580	701	135	198	14	421	—

(注) 「従前地不詳等」の転入者、「転出先不明等」の転出者は含まない。

表19 方部別県外（他都道府県、外国）転入、転出者数（平成20年）（単位：人）

方部	転出先	県計	県北管内	県中管内	県南管内	会津管内	南会津管内	相双管内	いわき管内
総数	転入 転出 転入(出)超過	30,987 38,883 △7,896	7,124 9,099 △1,975	9,536 11,373 △1,837	2,438 2,911 △473	3,214 4,501 △1,287	319 481 △162	2,990 3,682 △692	5,366 6,836 △1,470
北海道	転入 転出 転入(出)超過	754 641 113	164 139 25	301 270 31	53 40 13	45 52 △7	6 11 △5	59 34 25	126 95 31
東北計	転入 転出 転入(出)超過	8,133 8,491 △358	2,462 2,663 △201	2,778 2,644 134	434 382 52	591 751 △160	28 54 △26	825 966 △141	1,015 1,031 △16
青森県	転入 転出 転入(出)超過	663 594 69	199 186 13	230 180 50	59 42 17	40 33 7	6 1 5	41 57 △16	88 95 △7
岩手県	転入 転出 転入(出)超過	909 771 138	263 226 37	367 284 83	60 43 17	65 69 △4	0 4 △4	49 51 △2	105 94 11
宮城県	転入 転出 転入(出)超過	② 4,684 ② 5,453 △769	① 1,450 ① 1,668 △218	① 1,516 ② 1,678 △162	⑤ 194 207 △13	③ 316 ③ 478 △162	17 ⑤ 41 △24	① 608 ① 777 △169	④ 583 ④ 604 △21
秋田県	転入 転出 転入(出)超過	593 501 92	147 162 △15	203 163 40	57 31 26	41 39 2	2 0 2	54 25 29	89 81 8
山形県	転入 転出 転入(出)超過	1,284 1,172 112	403 421 △18	462 339 123	64 59 5	129 132 △3	3 8 △5	73 56 17	150 157 △7
関東計	転入 転出 転入(出)超過	14,330 21,536 △7,206	2,738 4,428 △1,690	4,054 5,970 △1,916	1,294 1,877 △583	1,705 2,671 △966	197 349 △152	1,439 1,905 △466	2,903 4,336 △1,433
茨城県	転入 転出 転入(出)超過	1,691 2,205 △514	235 313 △78	374 434 △60	139 191 △52	99 153 △54	11 11 0	170 192 △22	② 663 ② 911 △248
栃木県	転入 転出 転入(出)超過	1,333 1,870 △537	276 381 △105	434 617 △183	③ 222 ② 334 △112	140 202 △62	③ 31 ④ 51 △20	74 100 △26	156 185 △29
群馬県	転入 転出 転入(出)超過	404 523 △119	73 120 △47	156 177 △21	33 60 △27	50 50 0	2 6 △4	31 33 △2	59 77 △18
埼玉県	転入 転出 転入(出)超過	⑤ 2,116 ④ 3,187 △1,071	⑤ 440 ⑤ 668 △228	⑤ 663 ③ 995 △332	⑤ 194 ⑤ 248 △54	⑤ 261 ④ 426 △165	③ 31 ② 63 △32	⑤ 194 ⑤ 278 △84	333 509 △176
千葉県	転入 転出 転入(出)超過	1,667 2,667 △1,000	291 558 △267	461 718 △257	134 192 △58	164 309 △145	⑤ 30 31 △1	190 271 △81	397 ⑤ 588 △191
東京都	転入 転出 転入(出)超過	① 4,692 ① 7,454 △2,762	② 963 ② 1,618 △655	② 1,249 ① 2,061 △812	① 363 ① 587 △224	① 697 ① 1,030 △333	① 68 ① 127 △59	② 531 ② 698 △167	① 821 ① 1,333 △512
神奈川県	転入 転出 転入(出)超過	④ 2,427 ③ 3,630 △1,203	④ 460 ③ 770 △310	④ 717 ④ 968 △251	④ 209 ③ 265 △56	④ 294 ② 501 △207	24 ③ 60 △36	④ 249 ③ 333 △84	⑤ 474 ③ 733 △259
新潟県	転入 転出 転入(出)超過	720 892 △172	148 143 5	198 241 △43	29 30 △1	162 217 △55	14 10 4	95 127 △32	74 124 △50
外国	転入 転出 転入(出)超過	③ 3,528 ⑤ 3,042 486	③ 801 ④ 736 65	③ 983 ⑤ 841 142	② 357 ④ 261 96	② 380 ⑤ 348 32	② 36 28 8	③ 309 ④ 313 △4	③ 662 515 147
その他	転入 転出 転入(出)超過	3,522 4,281 △759	811 990 △179	1,222 1,407 △185	271 321 △50	331 462 △131	38 29 9	263 337 △74	586 735 △149

①～⑤は転入、転出が多い順の順位

(注) 「従前地不詳等」の転入者、「転出先不明等」の転出者は含まない。

(3) 市町村別状況

移動者の県内、県外割合をみると、市部においては県外移動者の割合が過半数を占めるのに対して、郡部においては県内移動者の割合が6割近くを占めている。

また、市部において移動者総数に占める県内移動者の割合が最も高いのは、本宮市で68.5%、一方、県外移動者の割合が最も高いのは、いわき市で74.2%となっている。

なお、県内移動では差し引き1,019人の郡部から市部への移動があり、市部の中では郡山市(905人)、福島市(716人)、いわき市(150人)など5市で転入超過となっている。県外移動ではすべての市及び町村計で転出超過となっている。

表20 移動者の県内、県外別割合(平成20年)

(単位:人、%)

	移動者 総数(A)	県内移動				県外移動					
		転入	転出	計(B)	割合 (B)/(A)	転入 - 転出	転入	転出	計(C)	割合 (C)/(A)	転入 - 転出
市計	100,804	21,883	20,864	42,747	42.4	1,019	25,862	32,195	58,057	57.6	△ 6,333
福島市	20,351	4,652	3,936	8,588	42.2	716	5,174	6,589	11,763	57.8	△ 1,415
会津若松市	8,800	2,170	2,066	4,236	48.1	104	1,933	2,631	4,564	51.9	△ 698
郡山市	25,310	5,239	4,334	9,573	37.8	905	7,262	8,475	15,737	62.2	△ 1,213
いわき市	16,450	2,199	2,049	4,248	25.8	150	5,366	6,836	12,202	74.2	△ 1,470
白河市	5,065	1,236	1,265	2,501	49.4	△ 29	1,209	1,355	2,564	50.6	△ 146
須賀川市	4,850	1,343	1,480	2,823	58.2	△ 137	860	1,167	2,027	41.8	△ 307
喜多方市	2,779	710	828	1,538	55.3	△ 118	511	730	1,241	44.7	△ 219
相馬市	2,546	506	574	1,080	42.4	△ 68	674	792	1,466	57.6	△ 118
二本松市	3,306	798	1,049	1,847	55.9	△ 251	624	835	1,459	44.1	△ 211
田村市	2,042	499	617	1,116	54.7	△ 118	419	507	926	45.3	△ 88
南相馬市	3,965	848	932	1,780	44.9	△ 84	960	1,225	2,185	55.1	△ 265
伊達市	3,270	932	1,067	1,999	61.1	△ 135	582	689	1,271	38.9	△ 107
本宮市	2,070	751	667	1,418	68.5	84	288	364	652	31.5	△ 76
町村計	29,000	8,084	9,103	17,187	59.3	△ 1,019	5,125	6,688	11,813	40.7	△ 1,563

(注1) 「従前地不詳等」の転入者、「転出先不明等」の転出者は含まない。

(注2) 福島市には、旧飯野町分を含む。

表21 移動者の主な従前地・転出先-13市(平成20年)

(単位:人)

市名	順位	1			2			3			市名	順位	1			2			3		
		転入	転出	割合	転入	転出	割合	転入	転出	割合			転入	転出	割合	転入	転出	割合	転入	転出	割合
福島市	転入	宮城県	1,124	郡山市	841	伊達市	685	相馬市	転入	宮城県	200	南相馬市	159	東京都	111						
	転出	宮城県	1,301	東京都	1,136	郡山市	865		転出	宮城県	222	南相馬市	166	東京都	144						
会津若松市	転入	東京都	413	郡山市	311	喜多方市	279	二本松市	転入	福島市	297	郡山市	140	外国	97						
	転出	東京都	589	郡山市	467	福島市	395		転出	福島市	389	郡山市	244	東京都	156						
郡山市	転入	宮城県	1,310	東京都	886	福島市	865	田村市	転入	郡山市	176	外国	88	東京都	66						
	転出	東京都	1,453	宮城県	1,395	福島市	841		転出	郡山市	307	東京都	97	外国	87						
いわき市	転入	東京都	821	茨城県	663	外国	662	南相馬市	転入	宮城県	237	相馬市	166	福島市	155						
	転出	東京都	1,333	茨城県	911	神奈川県	733		転出	宮城県	336	福島市	202	東京都	198						
白河市	転入	西郷村	274	東京都	194	郡山市	169	伊達市	転入	福島市	541	宮城県	130	外国	98						
	転出	西郷村	329	東京都	280	郡山市	187		転出	福島市	685	東京都	140	宮城県	127						
須賀川市	転入	郡山市	540	東京都	124	外国	116	本宮市	転入	郡山市	383	二本松市	89	福島市	68						
	転出	郡山市	668	東京都	246	宮城県	114		転出	郡山市	290	東京都	77	大玉村	70						
喜多方市	転入	会津若松市	232	福島市	103	東京都	98														
	転出	会津若松市	279	東京都	167	郡山市	102														

(注) 福島市には、旧飯野町分を含む。

### 3 年齢別移動者数

年齢別にみると、転入超過となっているのは55～64歳（301人）のみで、他はすべての年齢階級で転出超過となっている。

特に15～19歳（△2,598人）、20～24歳（△3,132人）において転出超過が大きく、これらの年齢階級で、全転出超過の約73%を占めている。

図16 年齢別県外移動者数（平成20年）

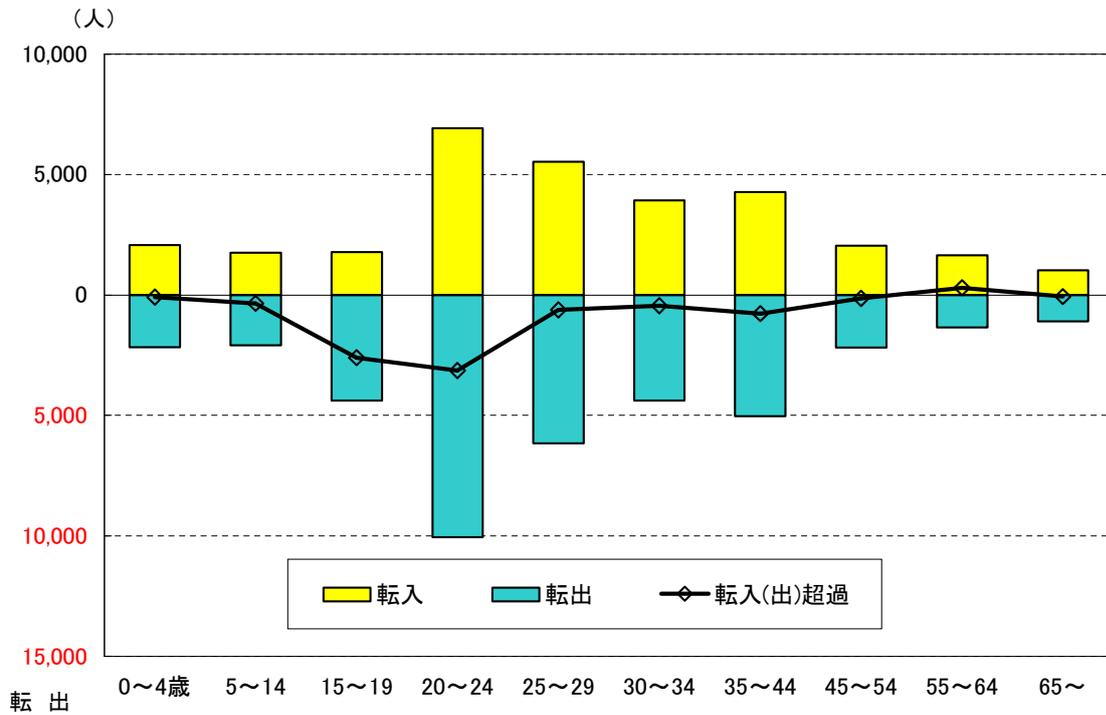


表22 年齢階級別移動者数（平成20年）

年		区分	総数	0～4歳	5～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～44	45～54	55～64	65～	
20年	移動者総数	総数	99,837	7,120	5,841	7,612	21,892	17,164	12,593	13,298	6,501	4,410	3,406	
		(男)	53,093	3,656	2,929	4,268	11,030	8,577	6,503	7,739	4,268	2,824	1,299	
		(女)	46,744	3,464	2,912	3,344	10,862	8,587	6,090	5,559	2,233	1,586	2,107	
	県内移動者 1)	総数	29,967	2,872	1,998	1,446	4,916	5,481	4,280	3,995	2,271	1,421	1,287	
		(男)	15,045	1,488	986	734	2,105	2,519	2,127	2,247	1,459	932	448	
		(女)	14,922	1,384	1,012	712	2,811	2,962	2,153	1,748	812	489	839	
	県外移動者 2)	転入	総数	30,987	2,082	1,748	1,784	6,922	5,531	3,935	4,268	2,045	1,645	1,027
			(男)	17,125	1,056	893	985	3,809	2,888	2,083	2,534	1,384	1,043	450
			(女)	13,862	1,026	855	799	3,113	2,643	1,852	1,734	661	602	577
		転出	総数	38,883	2,166	2,095	4,382	10,054	6,152	4,378	5,035	2,185	1,344	1,092
(男)			20,923	1,112	1,050	2,549	5,116	3,170	2,293	2,958	1,425	849	401	
(女)			17,960	1,054	1,045	1,833	4,938	2,982	2,085	2,077	760	495	691	
転入(出)超過	総数	△7,896	△84	△347	△2,598	△3,132	△621	△443	△767	△140	301	△65		
	(男)	△3,798	△56	△157	△1,564	△1,307	△282	△210	△424	△41	194	49		
	(女)	△4,098	△28	△190	△1,034	△1,825	△339	△233	△343	△99	107	△114		
19年	県外移動者 2)	転入	32,049	2,127	1,821	1,940	7,117	5,845	4,114	4,439	2,044	1,564	1,038	
		転出	40,200	2,255	2,153	4,941	10,398	6,269	4,586	4,922	2,255	1,341	1,080	
		転入(出)超過	△8,151	△128	△332	△3,001	△3,281	△424	△472	△483	△211	223	△42	
18年	県外移動者 2)	転入	32,753	2,222	1,916	1,953	7,151	5,907	4,271	4,435	2,108	1,733	1,057	
		転出	40,598	2,327	2,094	4,855	10,446	6,450	4,718	4,914	2,311	1,326	1,157	
		転入(出)超過	△7,845	△105	△178	△2,902	△3,295	△543	△447	△479	△203	407	△100	
17年	県外移動者 2)	転入	34,846	2,231	1,922	2,106	8,038	6,592	4,643	4,424	2,231	1,612	1,047	
		転出	40,987	2,352	2,047	5,048	10,313	6,977	4,898	4,784	2,239	1,241	1,088	
		転入(出)超過	△6,141	△121	△125	△2,942	△2,275	△385	△255	△360	△8	371	△41	
16年	県外移動者 2)	転入	36,210	2,446	2,083	2,340	8,326	6,837	4,572	4,548	2,379	1,632	1,047	
		転出	42,351	2,524	2,271	5,469	10,338	7,280	4,854	4,845	2,432	1,281	1,057	
		転入(出)超過	△6,141	△78	△188	△3,129	△2,012	△443	△282	△297	△53	351	△10	

1) 統計表の「社会動態」の「転入」・「転出」の「県内」移動者数 2) 統計表の「社会動態」の「その他」は含まない。

## 第4 最近10年の人口の推移

最近10年の推移をみると、県全体の人口は減少が続いており、平成11年と20年を比較すると、3.7%の減少となっている。

内訳をみると、市部は平成12年に減少に転じ、平成13年にはわずかに増加したものの平成14年からは減少が続いている。

一方、郡部では毎年減少が続いている。

人口が増加しているのは、中通りの都市部地域の市町村などで、対照的に会津、阿武隈地域の町村では大幅な減少となっている。

平成11年と20年を比較すると、53市町村で人口が減少しており、うち23町村では10%以上減少している。

＜ 表23の見方 ＞

表の右の折れ線グラフは、平成11年の人口を基準値として、平成20年まで毎年の人口の推移を表したものである。

グラフの増減割合の表示は、増減とも20%が上限であり、20%以上の大幅な増減があった場合は表示されない。

合併をした市町村の人口は、平成20年10月1日現在の市町村区域に基づき組み替えている。

表23 市町村人口の推移（平成11年～20年、各年10月1日現在）

年	平成11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	平成11年からの人口の推移
県計	2,134,671	2,126,935	2,124,404	2,119,382	2,112,489	2,104,850	2,091,319	2,080,186	2,068,352	2,055,496	-3.7%
市部	1,662,714	1,660,874	1,660,913	1,658,944	1,655,196	1,650,804	1,643,093	1,636,312	1,629,309	1,621,132	-2.5%
郡部	471,957	466,061	463,491	460,438	457,293	454,046	448,226	443,874	439,043	434,364	-8.0%
県北管内	519,324	518,385	517,828	516,028	514,230	512,479	510,792	508,349	505,531	502,500	-3.2%
福島市	296,998	297,894	298,319	297,878	297,587	297,180	297,357	296,483	295,695	294,480	-0.8%
二本松市	66,434	66,077	65,769	65,354	64,681	64,166	63,178	62,612	61,833	61,137	-8.0%
伊達市	72,551	71,817	71,395	70,885	70,481	69,931	69,289	68,406	67,643	67,129	-7.5%
本宮市	31,650	31,541	31,558	31,367	31,254	31,170	31,367	31,647	31,737	31,711	0.2%
伊達郡計	43,224	42,649	42,358	42,082	41,796	41,620	41,137	40,735	40,203	39,587	-8.4%
桑折町	13,853	13,700	13,597	13,553	13,559	13,525	13,411	13,351	13,290	13,107	-5.4%

表 2 3 市町村人口の推移（平成11年～20年、各年10月1日現在）

年	平成 11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	平成11年からの人口の推移
国見町	11,335	11,198	11,111	11,024	10,928	10,867	10,692	10,577	10,482	10,341	-8.8%
川俣町	18,036	17,751	17,650	17,505	17,309	17,228	17,034	16,807	16,431	16,139	-10.5%
安達郡計	8,467	8,407	8,429	8,462	8,431	8,412	8,464	8,466	8,420	8,456	-0.1%
大玉村	8,467	8,407	8,429	8,462	8,431	8,412	8,464	8,466	8,420	8,456	-0.1%
県中管内	560,927	561,254	562,108	562,640	562,676	562,762	560,826	559,691	558,249	556,362	-0.8%
郡山市	333,201	334,824	336,044	337,678	338,289	339,248	338,834	339,071	339,157	339,196	1.8%
須賀川市	78,883	79,409	79,937	79,946	80,211	80,335	80,364	80,444	80,324	79,844	1.2%
田村市	45,255	45,052	44,809	44,494	44,243	43,941	43,253	42,743	42,351	41,809	-7.6%
岩瀬郡計	19,769	19,632	19,517	19,411	19,415	19,376	19,232	19,174	19,063	19,056	-3.6%
鏡石町	12,748	12,743	12,683	12,627	12,698	12,700	12,746	12,742	12,707	12,755	0.1%
天栄村	7,021	6,889	6,834	6,784	6,717	6,676	6,486	6,432	6,356	6,301	-10.3%
石川郡計	50,629	49,806	49,423	49,033	48,651	48,278	47,844	47,255	46,715	46,177	-8.8%
石川町	20,319	19,914	19,666	19,508	19,322	19,076	18,921	18,778	18,578	18,336	-9.8%
玉川村	7,607	7,680	7,649	7,588	7,567	7,601	7,602	7,534	7,501	7,445	-2.1%

表 2 3 市町村人口の推移（平成11年～20年、各年10月1日現在）

年	平成 11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	平成11年からの人口の推移
市町村											
平田村	8,112	7,910	7,894	7,837	7,810	7,728	7,538	7,343	7,245	7,182	-11.5%
浅川町	7,522	7,484	7,401	7,379	7,307	7,306	7,272	7,182	7,077	7,022	-6.6%
古殿町	7,069	6,818	6,813	6,721	6,645	6,567	6,511	6,418	6,314	6,192	-12.4%
田村郡計	33,190	32,531	32,378	32,078	31,867	31,584	31,299	31,004	30,639	30,280	-8.8%
三春町	20,366	19,976	19,910	19,719	19,621	19,418	19,194	19,003	18,826	18,617	-8.6%
小野町	12,824	12,555	12,468	12,359	12,246	12,166	12,105	12,001	11,813	11,663	-9.1%
県南管内	155,664	155,015	155,277	155,307	155,187	154,563	153,347	153,132	152,517	151,763	-2.5%
白河市	65,866	66,048	66,380	66,517	66,630	66,119	65,707	65,763	65,689	65,516	-0.5%
西白河郡計	49,754	49,631	49,852	50,048	50,255	50,414	50,164	50,332	50,314	50,255	1.0%
西郷村	18,614	18,642	18,807	18,977	19,233	19,380	19,494	19,661	19,706	19,804	6.4%
泉崎村	6,916	6,823	6,853	6,882	6,874	6,874	6,761	6,734	6,702	6,641	-4.0%
中島村	5,346	5,274	5,276	5,320	5,302	5,313	5,174	5,140	5,145	5,094	-4.7%
矢吹町	18,878	18,892	18,916	18,869	18,846	18,847	18,735	18,797	18,761	18,716	-0.9%
東白川郡計	40,044	39,336	39,045	38,742	38,302	38,030	37,476	37,037	36,514	35,992	-10.1%

表 2 3 市町村人口の推移（平成11年～20年、各年10月1日現在）

年	平成 11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	平成11年からの人口の推移
市町村											11 20年
棚倉町	16,597	16,376	16,273	16,173	15,998	15,948	15,795	15,633	15,531	15,356	-7.5%
矢祭町	7,212	7,062	7,032	7,007	6,907	6,841	6,740	6,714	6,588	6,493	-10.0%
塙町	11,491	11,296	11,174	11,069	10,934	10,789	10,619	10,454	10,274	10,065	-12.4%
鮫川村	4,744	4,602	4,566	4,493	4,463	4,452	4,322	4,236	4,121	4,078	-14.0%
会津管内	292,489	290,412	288,958	286,866	284,687	282,214	278,018	274,649	271,634	268,823	-8.1%
会津若松市	135,856	135,415	135,216	134,560	133,721	132,976	131,389	130,349	129,441	128,591	-5.3%
喜多方市	58,845	58,571	58,201	57,922	57,652	57,096	56,396	55,547	54,817	54,142	-8.0%
耶麻郡計	35,646	35,006	34,596	34,143	33,637	33,157	32,672	32,159	31,606	31,123	-12.7%
北塩原村	3,661	3,644	3,545	3,541	3,526	3,464	3,475	3,429	3,412	3,437	-6.1%
西会津町	9,356	9,075	8,977	8,828	8,663	8,484	8,237	8,064	7,861	7,685	-17.9%
磐梯町	4,248	4,109	4,128	4,032	3,965	3,935	3,951	3,917	3,897	3,825	-10.0%
猪苗代町	18,381	18,178	17,946	17,742	17,483	17,274	17,009	16,749	16,436	16,176	-12.0%
河沼郡計	27,958	27,696	27,472	27,174	27,006	26,753	26,104	25,738	25,416	25,208	-9.8%
会津坂下町	19,534	19,426	19,274	19,054	18,918	18,710	18,274	18,046	17,843	17,741	-9.2%
湯川村	3,590	3,601	3,608	3,590	3,611	3,633	3,570	3,546	3,505	3,461	-3.6%

表 2 3 市町村人口の推移（平成11年～20年、各年10月1日現在）

年	平成	12	13	14	15	16	17	18	19	20	平成11年からの人口の推移
市町村	11										11 20年
柳津町	4,834	4,669	4,590	4,530	4,477	4,410	4,260	4,146	4,068	4,006	-17.1%
大沼郡計	34,184	33,724	33,473	33,067	32,671	32,232	31,457	30,856	30,354	29,759	-12.9%
三島町	2,522	2,474	2,441	2,395	2,344	2,313	2,250	2,190	2,140	2,066	-18.1%
金山町	3,255	3,204	3,153	3,084	3,010	2,935	2,834	2,760	2,664	2,561	-21.3%
昭和村	1,869	1,874	1,832	1,787	1,752	1,681	1,632	1,585	1,539	1,497	-19.9%
会津美里町	26,538	26,172	26,047	25,801	25,565	25,303	24,741	24,321	24,011	23,635	-10.9%
南会津管内	35,396	34,988	34,614	34,259	33,894	33,436	32,913	32,420	31,773	31,236	-11.8%
南会津郡計	35,396	34,988	34,614	34,259	33,894	33,436	32,913	32,420	31,773	31,236	-11.8%
下郷町	7,596	7,579	7,442	7,368	7,285	7,211	7,053	6,963	6,783	6,656	-12.4%
檜枝岐村	771	757	746	733	731	740	706	694	682	677	-12.2%
只見町	5,684	5,557	5,545	5,493	5,443	5,339	5,284	5,232	5,185	5,114	-10.0%
南会津町	21,345	21,095	20,881	20,665	20,435	20,146	19,870	19,531	19,123	18,789	-12.0%
相双管内	209,490	206,743	206,037	205,197	204,397	203,231	200,931	199,585	198,390	196,833	-6.0%
相馬市	39,397	38,842	38,894	38,735	38,750	38,624	38,630	38,523	38,548	38,302	-2.8%
南相馬市	76,397	75,246	74,809	74,523	74,279	73,853	72,837	72,364	71,816	71,296	-6.7%

表 2 3 市町村人口の推移（平成11年～20年、各年10月1日現在）

年	平成 11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	平成11年からの人口の推移
市町村											11 20年
双葉郡計	77,437	76,545	76,335	76,008	75,559	75,101	74,158	73,633	73,150	72,594	-6.3%
広野町	5,966	5,813	5,845	5,797	5,691	5,581	5,533	5,493	5,490	5,424	-9.1%
檜葉町	8,545	8,380	8,360	8,327	8,257	8,208	8,188	8,054	7,975	7,887	-7.7%
富岡町	16,107	16,173	16,232	16,230	16,150	16,091	15,910	15,897	15,849	15,769	-2.1%
川内村	3,513	3,384	3,338	3,266	3,259	3,165	3,125	3,081	3,049	3,000	-14.6%
大熊町	10,905	10,803	10,847	10,824	10,865	10,995	10,992	11,044	11,101	11,122	2.0%
双葉町	7,924	7,647	7,544	7,486	7,446	7,381	7,170	7,095	7,030	6,981	-11.9%
浪江町	22,708	22,609	22,482	22,400	22,224	22,053	21,615	21,368	21,101	20,895	-8.0%
葛尾村	1,769	1,736	1,687	1,678	1,667	1,627	1,625	1,601	1,555	1,516	-14.3%
相馬郡計	16,259	16,110	15,999	15,931	15,809	15,653	15,306	15,065	14,876	14,641	-10.0%
新地町	9,047	9,017	8,987	8,970	8,908	8,822	8,584	8,499	8,436	8,362	-7.6%
飯館村	7,212	7,093	7,012	6,961	6,901	6,831	6,722	6,566	6,440	6,279	-12.9%
いわき管内	361,381	360,138	359,582	359,085	357,418	356,165	354,492	352,360	350,258	347,979	-3.7%
いわき市	361,381	360,138	359,582	359,085	357,418	356,165	354,492	352,360	350,258	347,979	-3.7%

**【お願い】**

本書から抜粋又は新たに資料を作成して利用する場合は、「**福島県企画調整部統計調査課編「福島県の推計人口」から抜粋（又は作成）**」と記入してください。

「福島県の推計人口」は、インターネットでも提供しています。

ホームページ 「ふくしま統計情報BOX」

アドレス <http://www.pref.fukushima.jp/toukei/>

---

## 福島県の推計人口（平成20年版）

平成21年3月発行

---

編集・発行

福島県 企画調整部 統計調査課

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号

電話024(521)7145

---